

コースフロー /
コースカリキュラム

2018.10 – 2019.3

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどの
システム基盤構築、管理するために
必要な技術が修得できます。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>
日立インフォメーションアカデミーホームページ

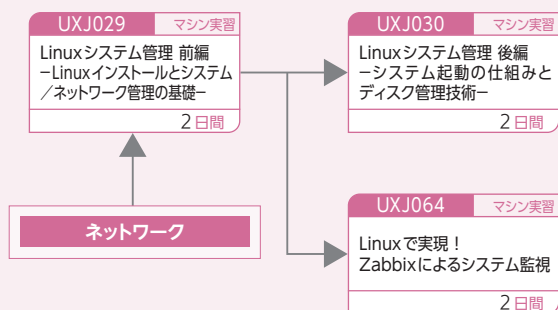
オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

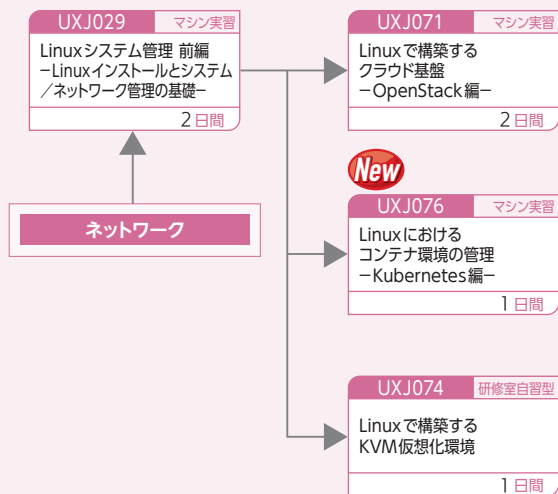
• OSSを利用する方

UXJ068	レクチャ
オープンソースソフトウェア(OSS)概説	
0.5日間	

• OSSを使用してシステムを運用・管理する方



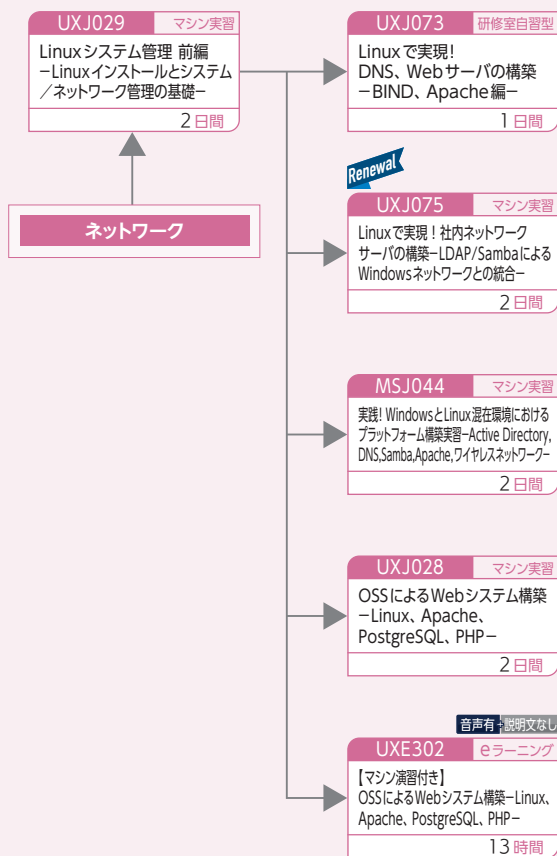
• 仮想環境を構築・管理する方



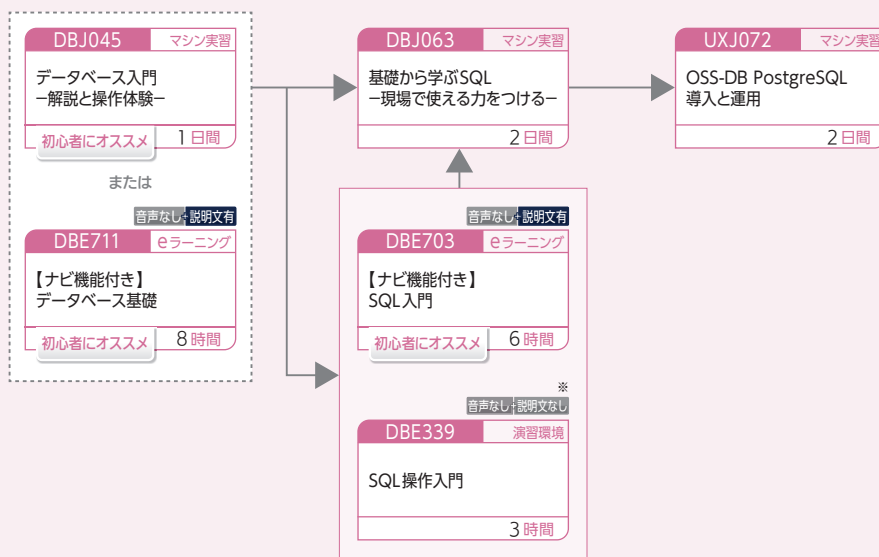
- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● OSSによるサーバ構築をする方



● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

UXJ068 オープンソースソフトウェア(OSS)

オープンソースソフトウェア (OSS) 概説

0.5日間

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標

- ・ OSSの概要を説明できる。
- ・ OSSの活用方法を説明できる。
- ・ OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者

- ・ OSSの概要を習得したい方。
- ・ OSS関連事業に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備考

- ・ このコースは、13:00～17:20の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ064 オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxで実現!
Zabbixによるシステム監視**

2日間

LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

到達目標

- ・ システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
- ・ Zabbixによる監視システムを実装できる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 [Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. システム監視の概要
2. Zabbixの概要
3. Zabbixのインストールおよび設定
4. 運用監視

備考

- ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ071 オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxで構築するクラウド基盤
-OpenStack編-**

2日間

LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理するための必要な知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・ 仮想化およびクラウドの仕組みを説明できる。
- ・ OpenStackを使用したクラウド環境の構築・運用・管理ができる。

対象者 LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理する方。

前提知識 [Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-]コースを修了しているか、または同等の知識があること。[<研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境]コースを修了していることが望ましい。

内容

1. クラウドとは
2. OpenStackの概要
3. OpenStack環境の構成
4. Keystone (認証)
5. Glance (イメージ管理)
6. Neutron (ネットワーク)
7. Nova (仮想マシン)
8. Cinder (仮想ディスク)
9. Horizon (ユーザインタフェース)
10. 環境構築
11. OpenStackの運用管理

備考

- ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ076 オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxにおけるコンテナ環境の管理
-Kubernetes編-**

1日間

コンテナの概要と、コンテナ環境の自動展開やスケールアップといった運用を行うためのツールとして良く利用されるKubernetesを学習し、マシン実習で実際に体験します。

到達目標 コンテナの概要を修得し、コンテナの管理の環境をKubernetesで構築できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でコンテナを使ったマイクロサービスアーキテクチャが採用されることが多くなっている。そのコンテナを効率よく管理するツールとしてKubernetesを使用したい方。

前提知識 [Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. コンテナ
 - (1) コンテナ概要
 - (2) Dockerの基本機能
 - (3) Dockerの構築と操作
2. Kubernetes
 - (1) Kubernetesの概要
 - (2) Kubernetesのアーキテクチャ
 - (3) Kubernetesの構築
 - (4) Kubernetesの操作

備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

UXJ074 オープンソースソフトウェア(OSS)

**<研修室自習型>
Linuxで構築するKVM仮想化環境**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。

マシン実習内容: KVMを使用した仮想化環境の構築や運用管理のためのコマンド操作

到達目標

- ・ 仮想化の仕組みを説明できる。
- ・ KVMを使用した仮想化環境の構築・運用ができる。

対象者

- ・ 実際の職場環境で試すことができない方。
- ・ 複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。
- ・ 演習で躓いた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

前提知識 [Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 仮想化とは
2. KVMの概要
3. KVMのインストール
4. KVMのネットワーク環境
5. 仮想マシンの作成と編集
6. 仮想NICの追加とVLAN設定
7. 仮想ディスク
8. バックアップとデータ抽出
9. マイグレーション

備考

- ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ073 オープンソースソフトウェア(OSS)

**<研修室自習型>
Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築
-BIND、Apache編-**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。

マシン実習内容: BIND (DNSサーバ)、Apache (Webサーバ)の構築や各サービスを起動、連携させるためのコマンド操作

到達目標

- ・ DNSサーバ、Webサーバ、プロキシサーバの概要を説明できる。
- ・ BINDを使用してDNSサーバを設定できる。
- ・ Apacheを使用してWebサーバを設定できる。
- ・ Squidを使用してプロキシサーバを設定できる。

対象者

- ・ 実際の職場環境で試すことができない方。
- ・ 複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。
- ・ 演習で躓いた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

前提知識 [Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Linuxネットワークの基礎
2. DNSサーバの構築
3. Webサーバの構築
4. プロキシサーバの構築

備考

- ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ075 オープンソースソフトウェア(OSS)

Linuxで実現！社内ネットワークサーバの構築—LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合— Renewal

2日間

Linuxシステムを社内ネットワークサーバとして利用するためのサーバ構築方法を学習します。マシン演習では、Samba、LDAP、DHCPのサーバ構築や、Windowsネットワークとの統合環境の構築を体験します。OSはRHEL7対応となります。

到達目標

- Windowsネットワーク上でLinuxのファイルサーバを構築できる。
- LDAPを利用して、ユーザー情報を一元管理できる。
- DHCPを利用して、ネットワーククライアントへIPアドレスを配布できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でLinuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Linuxネットワークの基礎
- ネットワークアドレス構成の自動化(DHCP)
- ディレクトリサーバの構築(LDAP)
- ユーザー認証の一元管理
- Windowsとのファイル共有(Samba)
- Windowsネットワークとの統合

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

UXJ028 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSによるWebシステム構築—Linux、Apache、PostgreSQL、PHP—

2日間

OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムの導入を検討している方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- オープンソースソフトウェア(OSS)概要
- Linuxとは
- Apache
 - Apacheのインストール
 - Apacheの起動
 - Apacheの設定
- PostgreSQL
 - PostgreSQLのアーキテクチャ
 - PostgreSQLの環境構築
 - psqlによる基本操作
 - PostgreSQLの管理
- PHP
 - PHPのアーキテクチャ
 - PHPの処理の流れ
 - PHPの設定
 - PHPプログラミングの基礎
 - PostgreSQLとの連携

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE302 オープンソースソフトウェア(OSS)

<eラーニング>【マシン演習付き】OSSによるWebシステム構築—Linux、Apache、PostgreSQL、PHP—

平均13時間

OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみを使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」を修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- オープンソースソフトウェア(OSS)概要
- Linux
- Apache
- PostgreSQL
- PHP
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

UXJ072 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSS-DB PostgreSQL 導入と運用

2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識 データベースについての基礎知識があること。

内容

- オープンソースデータベースの一般的特徴
- インストール
- 標準付属ツール
- トランザクションとスキーマ
- アーキテクチャ
- セキュリティ
- メンテナンス
- 実行計画
- 性能分析
- 性能改善
- 障害対応
- PITR
- Streaming Replication

備考 このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

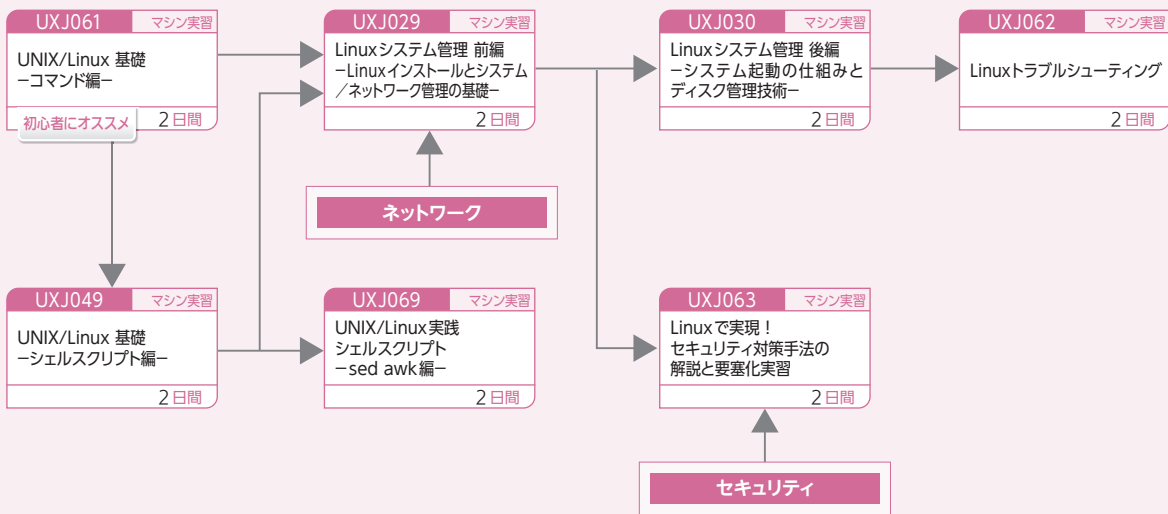
Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

• UNIX/Linuxを利用する方



• Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方





音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


UXJ061	Linux
	UNIX/Linux 基礎 -コマンド編-
2日間	
UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	・ UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者	UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。
前提知識	コンピュータの基礎知識があること。
内容	1. 概要 2. コマンドの基本操作 3. ファイルシステム 4. viエディタ 5. シェル 6. 知っておくと便利なシェルの機能 7. ネットワークの利用
備考	・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

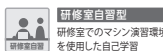
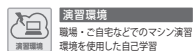
UXJ049	Linux
	UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編-
2日間	
シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。	
到達目標	・ シェルスクリプトの概要を説明できる。 ・ 変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。 ・ 制御文の基本を説明できる。 ・ 関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。
対象者	UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。
前提知識	「UNIX/Linux基礎-コマンド編-」コース、または「【ナビ機能付き】【マシン実習付き】UNIX/Linux基本使用法】eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. シェルとシェルスクリプトの概要 2. パラメータの取り扱い 3. 算術評価と文字列操作 4. 制御文(分岐/繰り返しなど) 5. 関数の利用 6. 実践的なシェルスクリプト
備考	・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE303	Linux
	<eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン実習付き】 UNIX/Linux基本使用法
平均8時間	
UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。	
到達目標	・ UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者	UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。 オペレーティングシステム及びネットワークに関する基本的な知識があること。
前提知識	
内容	1. UNIX/Linux概要 2. ファイルシステムとコマンド 3. ファイルとディレクトリのパーミッション 4. viエディタ 5. シェルの機能 6. UNIX/Linuxのネットワーク操作 7. 修了試験
備考	・ 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

UXJ069	Linux
	UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-
2日間	
システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。	
到達目標	・ 正規表現が理解できる。 ・ sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。 ・ 実践的なシェルスクリプトを作成できる。
対象者	・ 既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。 ・ UNIX/Linuxシステムを管理する方。
前提知識	「UNIX/Linux基礎-シェルスクリプト編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. パターンマッチングと正規表現 (1) シェルの種類とシェルスクリプト (2) 変数による文字列の取り扱い (3) 正規表現 2. sed (1) sedとは (2) sedを用いたテキスト編集 (3) sedの応用的な機能 3. awk (1) awkとは (2) 基本的なawkプログラミング (3) awkの編集処理の流れと制御文 (4) awkの関数 4. 実践的なシェルスクリプトの作成
備考	・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ029	Linux
	Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールと システム/ネットワーク管理の基礎-
2日間	
Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。	
到達目標	・ Linuxをインストールできる。 ・ Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。 ・ Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。
対象者	Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。
前提知識	「UNIX/Linux基礎-コマンド編-」および「ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Linuxシステム管理の基礎 2. Linuxのインストール 3. ネットワークの基本設定とサービス制御 4. ユーザ・グループ管理 5. パッケージ管理 6. ログの取得と管理 7. バックアップとリストア
備考	・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・ Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-」コースのご受講を推奨します。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ030	Linux
	Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-
2日間	
Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。	
到達目標	・ Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。 ・ 新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。 ・ LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。
対象者	Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識	「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. システムの起動 2. ファイルシステムの作成と管理 (1) ファイルシステムの作成の手順 (2) ファイルシステムの修復 (3) ファイルシステムの管理 (4) ファイルシステムの使用量の制限 3. LVM概要と環境構築 4. LVMの管理 (1) LVMの特性変更 (2) LVMの拡張 (3) LVMの縮小 (4) LVMの削除 5. iSCSI (1) ストレージの共有 (2) iSCSIとは (3) iSCSIの設定 (4) iSCSIの冗長化
備考	・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



UXJ062 Linux

Linuxトラブルシューティング

2日間

Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

到達目標

- ・トラブル発生時の対応手順を説明できる。
- ・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
- ・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. トラブルシューティング概要
 - (1) トラブルの種類
 - (2) トラブルシューティングの流れ
 - (3) 情報の収集手段
 - (4) バックアップとリストア
 - (5) トラブル発生時のLinux起動
2. ブート時のトラブルシューティング
 - (1) ブートの仕組み
 - (2) ブートデバイス関連のトラブルシューティング
 - (3) ブートローダ関連のトラブルシューティング
 - (4) init/systemd関連のトラブルシューティング
3. システム稼働中のトラブルシューティング
 - (1) ログインの仕組み
 - (2) ログイン関連のトラブルシューティング
 - (3) ファイルシステムの仕組み
 - (4) ファイルシステム関連のトラブルシューティング
4. ネットワークのトラブルシューティング
 - (1) ネットワークコマンドと設定ファイル
 - (2) ネットワークトラブルの原因と調査方法
 - (3) ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ063 Linux

Linuxで実現！セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習

2日間

Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。

到達目標

- ・SSHを利用して、安全な通信ができる。
- ・Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。
- ・Snortを利用して、IDSを実装できる。
- ・Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

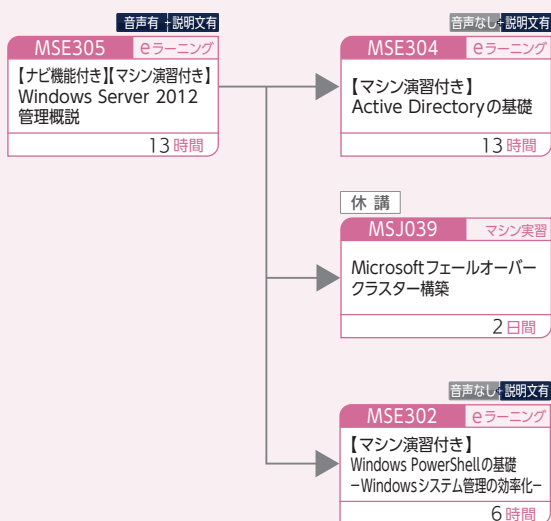
内容

1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策
2. SSHによるセキュアリモートアクセス
3. NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT
4. Snortによる侵入検知
5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック

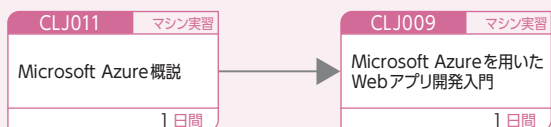
備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

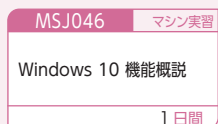
● Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方



● Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



● Windows (クライアント) OSを管理する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

MSJ043 Windows Server 2016

**ここが新しい!
Windows Server 2016新機能**

1日間

Windows Server 2016の新機能の概要について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 Windows Server 2016の新機能の概要が説明できる。

対象者 最新サーバーOSであるWindows Server 2016の新機能を学びたいITプロフェッショナルの方。

前提知識 Windows Server OS (Windows Server 2012 (R2)、2008 (R2)) についての基礎知識、およびWindows インターフェイスの基本的な操作経験があり、かつネットワークに関する基礎知識があること。

内容

1. Windows Server 2016の概要
2. Nano Server
3. Hyper-Vの新機能
4. Windows Server コンテナとHyper-Vコンテナ
5. ストレージの新機能
6. その他の新機能

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ042 Windows Server 2016

Windows Server 2016管理概説

2日間

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・ Windows Server 2016の概要が説明できる。
- ・ ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
- ・ ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
- ・ Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者

- ・ Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
- ・ Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windows インターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ

備考

- ・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSE306 Windows Server 2016

**<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
Windows Server 2016管理概説**

平均13時間

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの学習項目は、「Windows Server 2016管理概説」コースと同一です。

到達目標

- ・ Windows Server 2016の概要が説明できる。
- ・ ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
- ・ ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
- ・ Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。
- ・ Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
- ・ Windows Server 2016の導入を検討している方。

対象者

- ・ Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
- ・ Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windows インターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ
12. 修了試験

備考

- ・ 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ045 Windows Server 2016

**実践! Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-**

2日間

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。また、総合演習として与えられた要件をもとに、設計から実装まで行う演習を行います。なお、このコースの学習項目は、【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-】eラーニングコースと同一です。

到達目標

- ・ Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
- ・ Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
- ・ グループポリシーの実装ができる。
- ・ Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方で、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。

前提知識 【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説】eラーニングコース、または【Windows Server 2016管理概説】コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトの構成
7. 信頼関係の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備考

- ・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSE701 Windows Server 2016

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-**

平均6時間

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」コースと同一です。

到達目標

- ・ Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
- ・ グループポリシーの管理について説明できる。
- ・ Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。

対象者

- ・ Active Directoryを設計・構築・管理する方。
- ・ Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識 【Windows Server 2016 管理概説】コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
7. 複数ドメイン環境の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
9. 修了試験

備考

- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・ このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

MSE307 Windows Server 2016

**<演習環境>
Active Directoryの基礎
-Windows Server 2016編-**

平均4時間

Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。

対象者

- ・ Active Directoryの管理に関する操作スキルを身に付けたいが自身で構築することは困難な方。
- ・ Active Directoryの管理に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。

前提知識 【Windows Server 2016 管理概説】コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Active Directoryドメインサービスの実装
2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
3. グループポリシーの実装と管理
4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
6. 複数ドメイン環境の構成
7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備考

- ・ このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
- ・ このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/mc/index.html>
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCE707 Windows Server 2016

<eラーニング>【ナビ機能付き】
グループポリシーを使用したセキュリティ強化
—Windows Server 2016編—

平均4時間

Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。

到達目標 グループポリシーを使用したWindows環境のセキュリティ向上を実装できる。

対象者 Windows環境のセキュリティ強化における、グループポリシーの活用方法を具体的に知りたい方。

前提知識 「実践! Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. グループポリシーの実装
2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護
3. 修了試験

備考 ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

MSE308 Windows Server 2016

<演習環境>
グループポリシーを使用したセキュリティ強化
—Windows Server 2016編—

平均4時間

グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 グループポリシーを実装し、Windows環境のセキュリティを強化できる。

対象者 ・グループポリシーによるセキュリティ強化を実装する操作スキルを身に付けたいが自身で構築することは困難な方。
・グループポリシーによるセキュリティ強化に関する検証を行いたい実際の運用環境では試せない方。

前提知識 「実践! Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. グループポリシーの実装
2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護

備考 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
・https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/mc/index.html
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ047 Windows Server 2016

実践! Windows PowerShellを用いた
システム管理の効率化
—Windows Server 2016編—

1日間

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋がります。

到達目標 ・Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。
・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者 ・PowerShellを用いて環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。
・PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。
・Windows Server 2016/Windows 10に対応したPowerShell 5.0を知りたい方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「【ナビ機能付き】【マシン実習付き】Windows Server 2012管理概説」eラーニングコース、または「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. PowerShellの概要
2. 基本的なコマンドレット
3. PowerShellにおけるオブジェクト操作
4. PowerShellによるリモート管理
5. PowerShellによるシステム管理

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLJ010 Windows Server 2016

実践! Hyper-Vのインストールから
可用性向上まで
—Windows Server 2016編—

1日間

Microsoft社の仮想化技術であるHyper-Vを使った仮想サーバーの管理の基礎を、Windows Server 2016を使用して学習します。また、与えられた要件を基に、適切な機能を選択し、実装を行う演習により、実践力の強化を図ります。

到達目標 ・Hyper-Vによるサーバー仮想化の概要を説明できる。
・与えられた要件を基に、Hyper-Vを適切にインストールできる。
・与えられた要件を基に、Hyper-V上に仮想マシンを作成し、ゲストOSをインストールできる。
・Hyper-Vに作成できる仮想スイッチの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想スイッチを使用できる。
・Hyper-Vに作成できる仮想ハードディスクの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想ハードディスクを使用できる。
・仮想マシンの運用時、チェックポイントや仮想マシンのバックアップ、仮想マシンのインポート/エクスポートを適切に実行できる。
・仮想マシンの可用性向上のため、マイグレーションやHyper-Vレプリカの特徴を踏まえ、適切な方法で仮想マシンの可用性向上を実現できる。

対象者 Hyper-V上で動作する仮想サーバーを構築、運用、管理する方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Hyper-Vの概要
(1) サーバー仮想化の利点
(2) Hyper-Vのアーキテクチャ
2. Hyper-Vのインストール
(1) Hyper-Vのインストール要件
(2) Hyper-V役割の追加 (3) Hyper-Vの管理ツール
3. 仮想マシンの作成
(1) ウィザードによる仮想マシンの作成
(2) ゲストOSのインストール
(3) 統合サービスのインストール
4. 仮想スイッチの管理
(1) 仮想スイッチの概要 (2) 仮想スイッチの種類
(3) 仮想スイッチの作成と仮想マシンの接続
5. 仮想ハードディスクの管理
(1) 仮想ハードディスクの概要
(2) 仮想ハードディスクの種類
(3) 仮想ハードディスクの作成と接続
6. 仮想マシンの運用
(1) 仮想マシンの操作
(2) 仮想マシンの設定
(3) チェックポイントの利用
(4) 仮想マシンのインポート/エクスポート
(5) 仮想マシンのバックアップ
7. 仮想マシンの可用性向上
(1) 可用性向上のための機能
(2) 仮想マシンのマイグレーション
(3) Hyper-Vレプリカ

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ048 Windows Server 2016

実践! Windows Server 2016による
インフラ構築演習
—Windows Server 2016編—

2日間

Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたインフラの設計・実装を行う総合演習を実施します。
※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。

到達目標 ・Windows Server 2016のインストールと構成ができる。
・DNSサーバーを構築できる。
・Active Directoryを構築できる。
・DHCPサーバーを構築できる。
・フェールオーバークラスタを構築できる。

対象者 Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より実践的な実装スキルを身につけたい方。

前提知識 「実践! Active Directoryの基礎—Windows Server 2016—」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Windows Server 2016のインストールと構成
2. DNSの実装
3. ドメインコントローラのインストールと構成
4. AD DSでのオブジェクトの管理
5. DHCPの実装
6. フェールオーバークラスタリングの実装

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、マイクロソフト認定コースより、テーマごとに内容の一部を抽出し、再構成したコースです。
・このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。
・【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。
・このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

MSJ049 Windows Server 2016

【短縮版】
Windows Server 2016の
セキュリティ

2日間

Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたセキュリティの設計・実装を行う演習を実施します。
※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。

到達目標 Windowsサーバーの堅牢化に際し、ガイドラインやベストプラクティスを理解したうえで、適切なセキュリティの実装ができる。

対象者 Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より具体的なセキュリティの実装スキルを身につけたい方。

前提知識 「実践! Active Directoryの基礎—Windows Server 2016—」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 攻撃と侵害の検出とSysinternals ツール
2. 資格情報の保護と特権アクセス
3. Just Enough Administrationによる管理者権限の制限
4. 特権アクセス管理と管理フォレスト
5. マルウェアおよび脅威の軽減
6. 詳細な監査とログ分析によるアクティビティの分析
7. Microsoft Advanced Threat AnalyticsとMicrosoft Operations Management Suiteの展開と構成
8. 仮想化インフラストラクチャのセキュリティ保護
9. アプリケーション開発およびサーバーワークロードインフラストラクチャのセキュリティ保護
10. データの保護と計画
11. ファイル サービスの最適化およびセキュリティ保護
12. ファイアウォールと暗号化によるネットワークトラフィックのセキュリティ保護
13. ネットワークトラフィックのセキュリティ保護
14. Windows Serverの更新

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。
・【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。
・このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

MSE305 Windows Server 2012

<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
Windows Server 2012管理概説

平均13時間

Windows Server 2012 (R2) を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Windows Server 2012 (R2) の概要が説明できる。
- ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
- ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
- Windows Server 2012 (R2) のトラブルシューティングを実施できる。

対象者 Windows Server 2012 (R2) を使用してシステムを管理される方、またはWindows Server 2012 (R2) の導入を検討している方。

前提知識 Windows インターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Windows Server 2012 (R2) 概要
- Windows Server 2012 (R2) のインストール
- サーバー管理ツール
- ワークグループ環境のアカウント管理
- ドメイン環境のアカウント管理
- ポリシーの概要
- ディスクの管理
- アクセス許可の設定
- ファイルサーバーの構築
- サーバーの監視
- サーバーのバックアップ
- 修了試験

備考

- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSE304 Windows Server 2012

<eラーニング>【マシン演習付き】
Active Directoryの基礎

平均13時間

Windows Server 2012 (R2) にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
- Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
- グループポリシーを実装できる。
- Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012 管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Active Directoryドメインサービスの概要
- Active Directoryドメインサービスの実装
- Active Directoryドメインのオブジェクト管理
- グループポリシーの実装と管理
- Active DirectoryドメインサービスとDNS
- サイトとグローバルカタログサーバーの構成
- 複数ドメイン環境の構成
- Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ039 Windows Server 2012

Microsoft 休講

フェールオーバークラスター構築

2日間

Windows Server OSのフェールオーバークラスターの実装、管理および保守を行うための知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- フェールオーバークラスターの概要を説明できる。
- フェールオーバークラスターの実装、管理、保守をするための方法を説明できる。

対象者 Windows Server 2012 (R2) のフェールオーバークラスター環境の構築、運用を行う方、導入を検討している方。

前提知識 「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012 管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- フェールオーバークラスターの概要
- フェールオーバークラスターの構築
- フェールオーバークラスター上の役割の構成
- フェールオーバークラスターの運用、保守
- マルチサイトクラスターの構築
- フェールオーバークラスターによるHyper-Vの可用性向上

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

MSE302 Windows Server 2012

<eラーニング>【マシン演習付き】
Windows PowerShellの基礎
-Windowsシステム管理の効率化-

平均6時間

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。
- PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者 PowerShellを用いたWindowsシステムの管理に携わる方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- PowerShellの概要
- 基本的なコマンドレット
- PowerShellにおけるオブジェクトの扱い
- PowerShellによるリモート管理
- PowerShellによるWindowsシステム管理
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、集合研修「Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化-」コース(MSJ026)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ046 Windows 10

Windows 10機能概説

1日間

Windowsの概要、機能およびWindows 10を使用したシステム管理方法についてマシン実習を通して学習します。

到達目標

- Windows 10の機能の概要が説明できる。
- Windows 10の管理方法の概要が説明できる。

対象者 Windows 10の導入を検討されている方。

前提知識 Windows インターフェイスの基本的な操作経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Windows 10の特徴とインストール
- Windows 10のUIと基本操作
- デバイスの管理
- ネットワークの管理
- ユーザーアカウントの管理
- セキュリティの管理
- トラブルシューティングツール

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSE001 Windows

<eラーニング>
Windowsサーバー管理入門

平均8時間

Windows Serverの管理の基礎を学習します。

到達目標 Windowsサーバーの基礎的な設定方法を理解し、説明できる。

対象者 Windows Serverの管理の基礎を学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- サーバーとは
- Windows Serverとは
- Windows Serverの導入
- ユーザーアカウント管理
- ディスクとファイル管理
- Windows Serverの監視・保守
- Hyper-Vの概要
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

MSJ044 Windows

実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習-Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク-

マシン実習
2日間

このコースでは、実際の企業システム構成を模したサーバ・ネットワーク環境を設計・構築し、成果物の長所や問題点をグループ討議します。具体的な学習要素として、Active Directory、DNS、Samba、Apache、ワイヤレスネットワークを扱います。

到達目標 Active Directory、DNS、Samba、Apache、無線LANの小規模システム環境を設計、構築できる。

対象者 インフラ全体を俯瞰してシステム設計・構築・運用に携わる方。

前提知識 「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースおよび「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」を修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。

内容

1. 本研修の狙い
2. 基礎知識の修得と、実機での確認
 - (1) ActiveDirectory、DNS
 - (2) Samba、Apache
 - (3) 無線LAN
3. 業務シチュエーションにおける課題解決演習

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAE026 SharePoint

<eラーニング> SharePointによる社内ポータル作成入門

eラーニング
動画
平均3時間

SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。

到達目標 SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。

対象者

- ・職種、年齢層にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。
- ・SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. SharePointの概要
2. SharePointの代表的なアプリ
3. SharePointのサイト構築
4. SharePointのサイト管理
5. Outlookとの連携
6. SharePoint 2010ベースのワークフローの実装

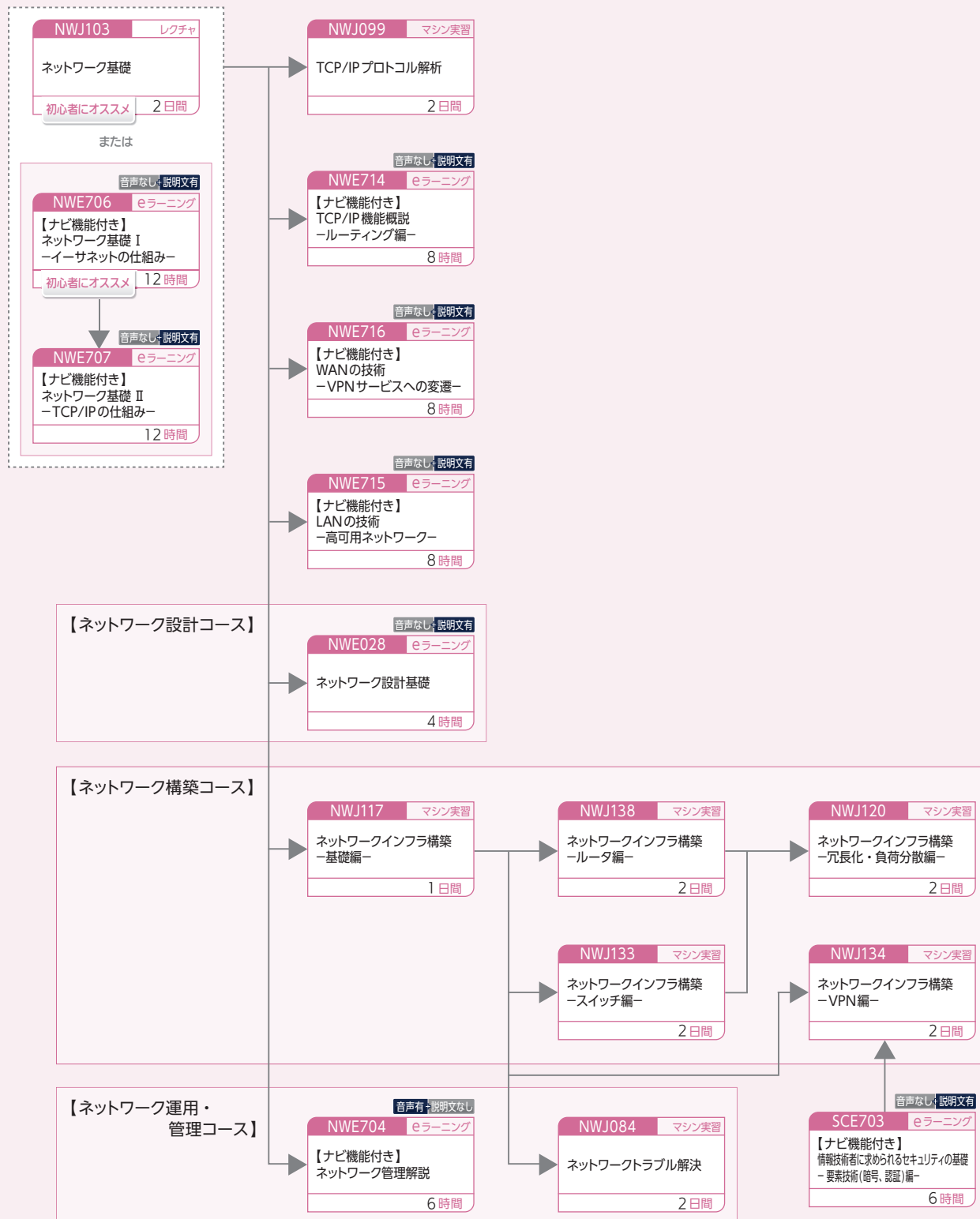
備考

- ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



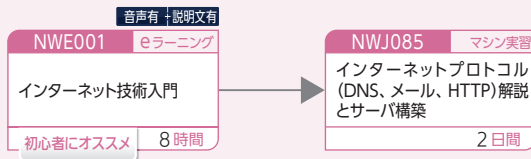
音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

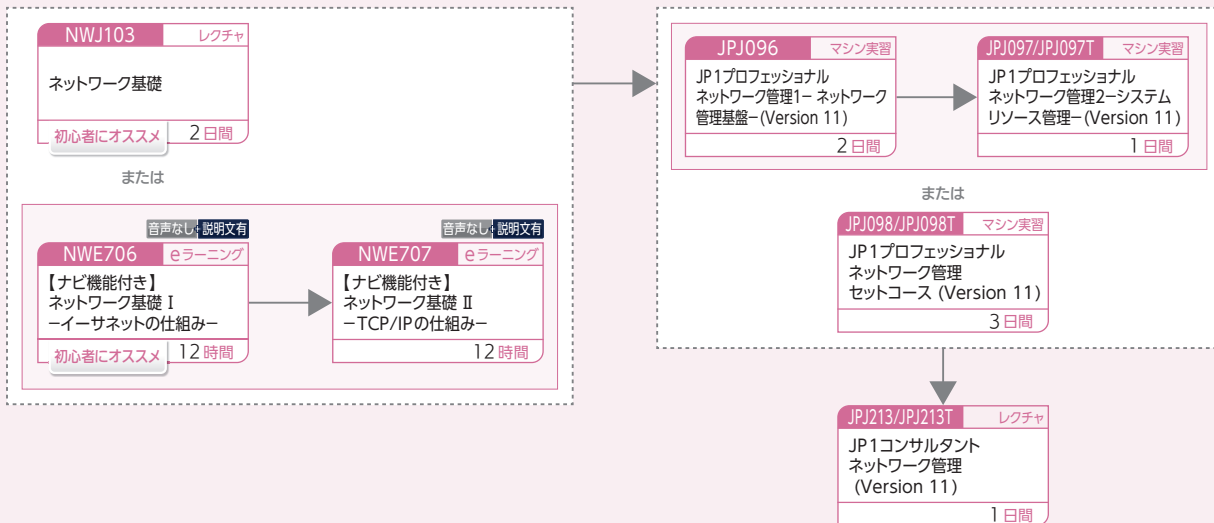
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

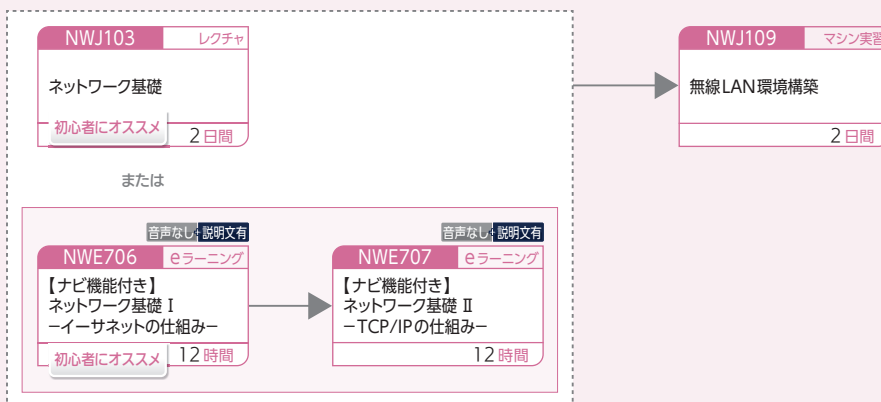
● インターネットサーバを構築・運用・管理する方



● JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



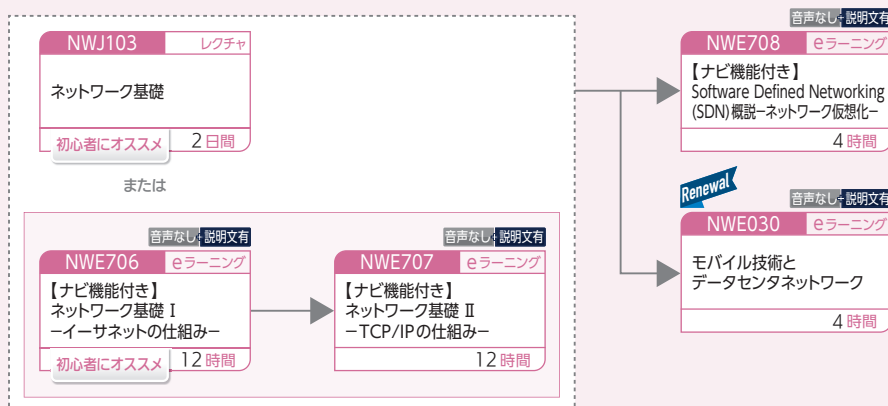
● ワイヤレスネットワークを設計・構築・運用する方、技術を幅広く学びたい方



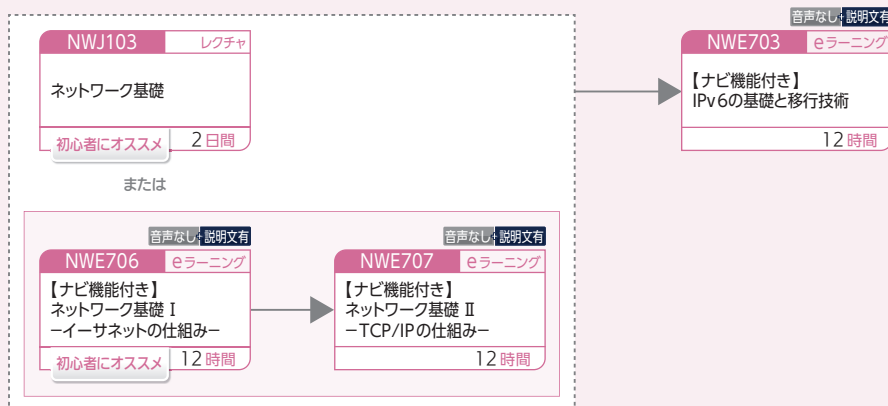
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

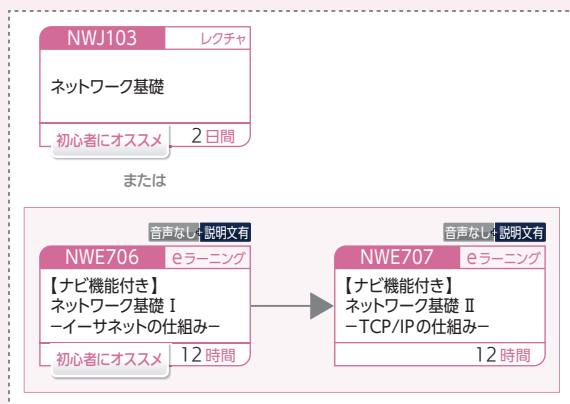
● ネットワークの最新動向を学びたい方



● IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



● ネットワークシステム、インターネットを利用する方



NWE001 eラーニング

音声有、説明文有

インターネット技術入門

初心者におすすめ 8時間

NWE712 eラーニング

音声なし、説明文有

【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理

12時間

- 音声有、説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有、説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし、説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

NWJ103 ネットワーク

ネットワーク基礎

2日間

コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。

到達目標

- LANの構成要素(ハード/ソフト)について説明できる。
- OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。
- イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。

対象者 ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークインタフェース層
4. インターネット層
5. トランスポート層
6. アプリケーション層
7. ネットワーク機器
8. インターネット

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWE706 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎 I
イーサネットの仕組み

平均12時間

ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。

到達目標

- ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。
- イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。

対象者 ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークの通信例
4. アプリケーションプロトコル
5. TCP/UDP
6. IP
7. 伝送媒体
8. イーサネット
9. LANデバイス
10. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE707 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎 II
TCP/IPの仕組み

平均12時間

TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。

到達目標

- TCP/IPの基礎的な説明ができる。
- IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。
- TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。

対象者 TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I - イーサネットの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. TCP/IPの概要
2. IP
3. アドレス解決 (ARP)
4. ICMP
5. TCP/UDP
6. IP関連技術
7. リモート・ログイン (Telnet)
8. ファイル転送 (FTP)
9. 名前解決 (DNS)
10. WWW (HTTP)
11. 電子メール
12. IPv6
13. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE715 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】
LANの技術-高可用ネットワーク

平均8時間

VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。

到達目標

- VLAN、無線LANの基礎を説明できる。
- 負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。

対象者 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. LANの構築
2. リンクアグリゲーション
3. STP
4. VRRP
5. 負荷分散
6. VLAN
7. ネットワーク・ストレージ
8. 無線LAN
9. LANデバイス
10. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE714 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】
TCP/IP機能概説-ルーティング編

平均8時間

TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル(RIP、OSPF、BGP)を学習します。

到達目標

- 小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。
- ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。

対象者 ネットワーク技術者をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ルーティング
2. スタティックルーティング
3. ルーティングアルゴリズム
4. RIP
5. OSPF
6. BGP
7. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWJ099 ネットワーク

TCP/IPプロトコル解析

2日間

LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。

到達目標 TCP/IPの内部的な動作を説明できる。

対象者 TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. TCP/IPの構造
2. TCP/IPのデータの流れ
3. 各プロトコルヘッダの構造
4. ICMPメッセージの種類
 - (1) Echo Request, Echo Reply
 - (2) Redirect
 - (3) Time Exceeded
5. 各アプリケーションの動作
 - (1) ftp
 - (2) telnet
6. シーケンス確認 (演習)
 - (1) TCP/IPレベルのシーケンス
 - (2) アプリケーションのシーケンス

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

	ネットワーク <eラーニング> [ナビ機能付き] WANの技術～VPNサービスへの変遷～
VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。	到達目標 ・代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。 ・VPN（広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。
対象者 WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。	前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. WANの利用 2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル 3. 専用線 4. PSTN・ISDN 5. xDSL・FTTH 6. 無線アクセス回線 7. 広域イーサネット 8. IP-VPN 9. インターネットVPN 10. NGN 11. 修了試験	備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

	ネットワーク <eラーニング> インターネット技術入門
WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。	到達目標 ・Webアプリケーションの概要を説明できる。 ・Webページ記述言語の概要について説明できる。 ・インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。 ・FTPの概要について説明できる。
対象者 インターネットの基礎的な知識を必要とする方。	前提知識 特に必要としません。
内容 1. インターネットの基礎知識 2. インターネットでの通信の仕組み (1) ドメイン名 (2) インターネットでの通信の仕組み 3. 電子メールの仕組み (1) 電子メールとは 4. WWWの仕組み (1) Webページの記述言語 5. Webアプリケーションの技術概要 6. Webのセキュリティに関わる基礎知識 7. 修了試験	備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

	ネットワーク インターネットプロトコル (DNS、メール、HTTP) 解説とサーバ構築
インターネットプロトコルの動作とインターネットサーバの構築方法について理解を深めます。	到達目標 ・DNSプロトコルの動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・SMTP/POP3の動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・HTTPの動作と基本的なメッセージが説明できる。
対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。	前提知識 「インターネット技術入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. インターネットの概要 2. DNSの仕組みとサーバ構築 (1) 名前解決の概要 (2) DNSの動作 (3) DNSプロトコルメッセージ 3. メールとの仕組みとサーバ構築 (1) メールシステム概要 (2) メールデータフォーマット (3) SMTPプロトコルメッセージ (4) POP3プロトコルメッセージ 4. Webの仕組みとサーバ構築 (1) Webの仕組みとHTMLファイル (2) HTTPプロトコルメッセージ	備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

	ネットワーク <eラーニング> ネットワーク設計基礎
ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。	到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。
対象者 ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。	前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. ネットワーク設計・構築の全体像 2. LANの設計 3. 拠点間接続の設計 4. インターネット接続の設計 5. 修了試験	備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

	ネットワーク ネットワークインフラ構築—基礎編—
PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。	到達目標 PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。
対象者 ネットワークを構築・管理する方、ネットワーク機器の操作を通じてネットワーク技術の知識を深めたい方。	前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. LANとは (1) OSI基本参照モデル (2) イーサネット (3) TCP/IP 2. ネットワーク機器の基本操作 (1) モード (2) 基本コマンド (3) インタフェースの設定 3. スイッチを用いたLANの構築 (1) スイッチの機能 (2) VLAN 4. ルータを用いたLANの構築 (1) ルータの機能 (2) スタティックルーティング (3) ダイナミックルーティング	備考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

	ネットワーク ネットワークインフラ構築—ルータ編—
LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。	到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。
対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。	前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. ルータの基本操作 2. ルーティングの基礎 3. スタティックルーティング 4. ダイナミックルーティング（シングルエリアOSPF） 5. ダイナミックルーティング（マルチエリアOSPF） 6. ダイナミックルーティング（BGP） 7. 経路再配布	備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ133 ネットワーク

**ネットワークインフラ構築
—スイッチ編—**

2日間

L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。

到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。

対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. スイッチの概要
2. スイッチの基本操作
(コンフィギュレーション、ミラーポート)
3. VLAN
(ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング)
4. リンクアグリゲーション
5. STP (RSTP、MSTP)
6. パケットフィルタリング (ACL)
7. 運用管理 (SNMP、Syslog)

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWJ120 ネットワーク

**ネットワークインフラ構築
—冗長化・負荷分散編—**

2日間

高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。
・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築—スイッチ編—」および「ネットワークインフラ構築—ルータ編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. L2冗長化・負荷分散 (STP、RSTP、MSTP)
2. L3冗長化・負荷分散 (OSPF、RIP)
3. ゲートウェイ冗長化 (VRRP)
4. ロードバランサによる負荷分散
5. NIC冗長化 (チーミング)
6. 総合演習

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWJ134 ネットワーク

**ネットワークインフラ構築
—VPN編—**

2日間

基本的なVPNの概要、およびインターネットVPNの要素技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・IPsecやSSL/TLSなど、インターネットVPNに必要な要素技術について説明できる。
・IPsec-VPNを利用してネットワークが構築できる。
・SSL-VPNを利用してネットワークが構築できる。

対象者 ネットワークを設計、構築、管理、運用する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コース、および「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術(暗号、認証)編—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. VPNの概要
2. IPsec-VPN
3. SSL-VPN
4. その他のインターネットVPN関連技術
5. VPN導入例

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWE703 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
IPv6の基礎と移行技術**

平均12時間

IPv6プロトコルに関連する基礎技術(アドレス、ヘッダ、ICMP等)と移行技術を学習します。

到達目標 ・IPv6の概要を説明できる。
・IPv6移行技術の概要を説明できる。

対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎 II—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. IPv4の問題点とIPv6の特徴
2. IPv6の仕様(プロトコルスタックやアドレスなど)
3. ICMPv6の仕様
(アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など)
4. IPv6への移行(移行形態やアドレス設計例など)
5. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWJ084 ネットワーク

ネットワークトラブル解決

2日間

ネットワークにおけるトラブルシューティングについて、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・トラブルシューティングの基礎的な考え方について説明できる。
・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシューティングができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ネットワーク概要
2. トラブル解析手順
(1) ネットワークトラブルに対する考え方
(2) トラブルシューティングに必要なこと
(3) トラブルの絞り込み
3. ルータの基本操作
4. スイッチの基本操作
5. LANアナライザの使用法
6. トラブルシューティング演習

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWE704 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
ネットワーク管理解説**

平均6時間

ネットワークの運用管理の対象となる項目(構成管理・性能管理・障害管理等)と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。

到達目標 ・ネットワークの管理項目(構成管理・性能管理・障害管理等)について説明できる。
・各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。
・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。

対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築—基礎編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ネットワーク管理の概要
2. 資産・構成管理
3. 性能管理
4. 障害管理
5. ネットワーク管理ツール
6. SNMPを用いたネットワーク管理
7. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWJ109 ネットワーク

無線LAN環境構築

マシン実習
2日間

無線LAN技術の基礎知識および発展的な知識について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 無線LANで利用される代表的な技術について説明できる。
・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。
・無線LANシステムの要件定義から、設計・構築・運用までの全体的な流れを説明できる。

対象者 無線LANを利用したネットワークを設計、構築・運用する方、業務で無線LANについての知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 無線LANの概要
2. 物理層に関わる技術
3. データリンク層に関わる技術
4. 無線LAN規格の動向
5. 無線LANのセキュリティ技術
6. 大規模な無線LAN環境構築技術
7. 無線LANの設計・導入

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

NWE708 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
Software Defined Networking (SDN)
概説-ネットワーク仮想化-**

eラーニング
ナビ付き
平均4時間

Software Defined Networking (SDN) の概要を学習します。

到達目標 Software Defined Networking (SDN) の概要を説明できる。

対象者 Software Defined Networking (SDN) 技術に興味のある方、ネットワーク仮想化技術に興味のある方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Software Defined Networking (SDN) の概要
2. Software Defined Networking (SDN) の要素技術
3. Software Defined Networking (SDN) の活用例
4. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWE030 ネットワーク

**<eラーニング>
モバイル技術と
データセンタネットワーク**

eラーニング
平均4時間

モバイルネットワークやサービス及びデータセンタネットワークに関する動向について、学習します。

到達目標 代表的なモバイルネットワークやサービス及びデータセンタネットワークの技術を挙げ、概要を説明できる。

対象者 ・データセンタ・無線ネットワークを修得したい方。
・データセンタ・無線ネットワークのソリューション提案を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. ワイヤレス通信技術の動向
2. 端末のオープン化と移動体通信事業者の今後
3. モバイルソリューション・サービス動向
4. データセンタネットワークの動向
5. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWE712 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
基礎から学ぶネットワーク運用管理**

eラーニング
ナビ付き
平均12時間

ネットワークの管理項目として、構成管理、性能監視、障害運用を学習します。また、ITシステムの運用管理におけるネットワーク管理の位置づけと運用管理の体制について学習します。

到達目標 ネットワークの基礎技術を理解したうえで、運用管理の手法や、活用されている技術について説明できる。
・ITシステムの運用管理におけるネットワークの管理の位置づけと運用管理の体制について説明できる。

対象者 ・ネットワークの運用管理技術について、ネットワークの基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。
・運用管理を切り口にネットワークの基礎技術を修得したいITエンジニアや営業の方。

前提知識 特に必要としません。

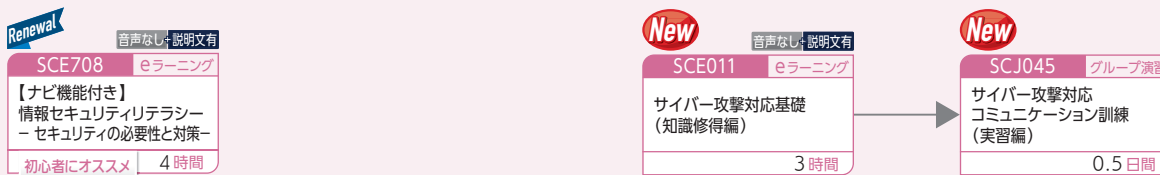
内容 1. ネットワーク管理の概要
(1) ネットワーク管理の必要性
(2) ネットワーク管理の概要
2. 構成管理
(1) 構成管理とは
(2) 物理構成
(3) 論理構成
3. 性能監視
(1) 性能監視とは
(2) 監視のための方法
4. 障害運用
(1) 障害運用とは
(2) 障害対応作業
5. ITシステムからみたネットワーク管理と運用管理の体制
(1) 運用管理の対象
(2) 運用管理の体制
6. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

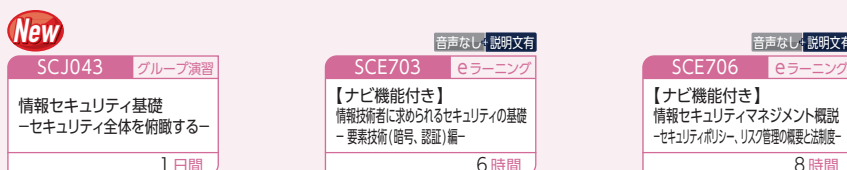
セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

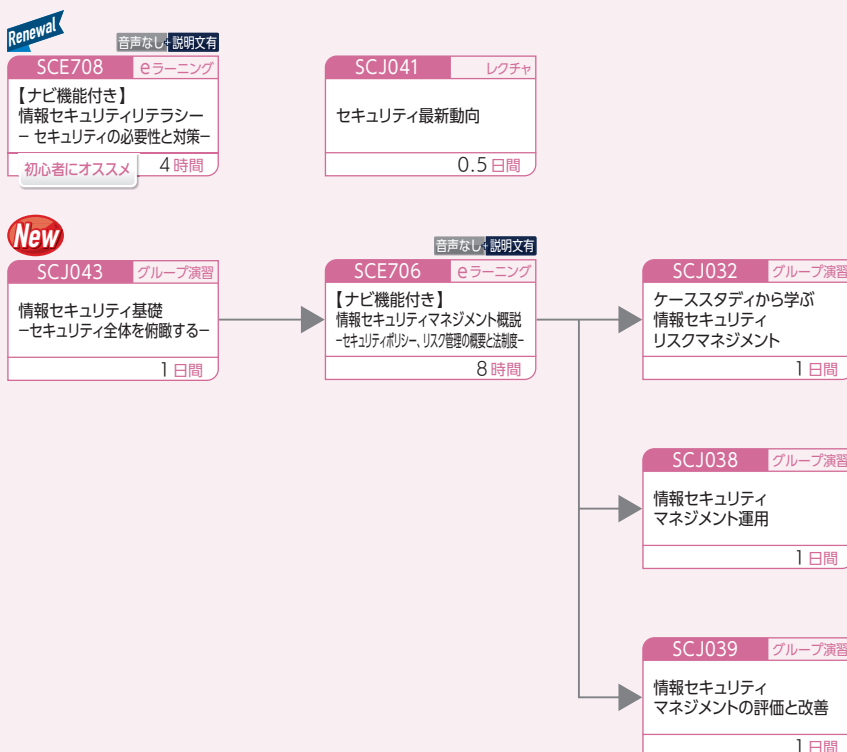
● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方



● 情報システムを運用・管理する方



● 企業内の情報セキュリティを管理する方



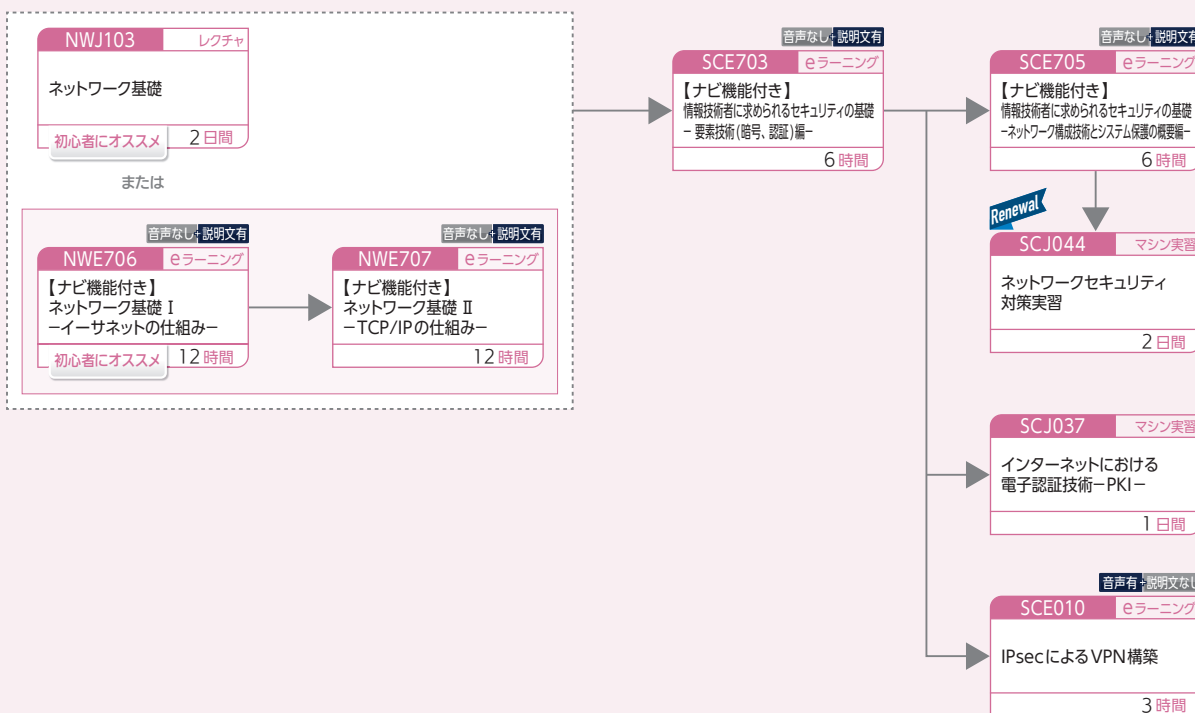
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

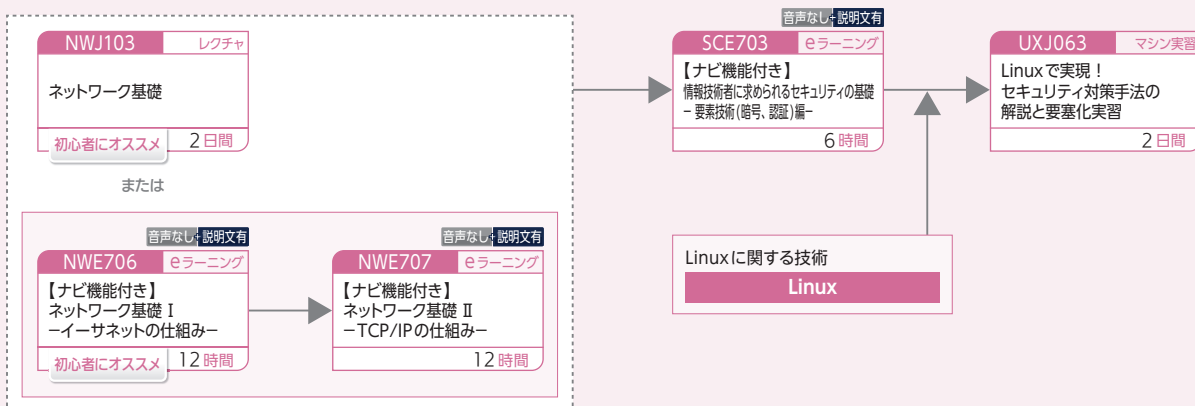
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

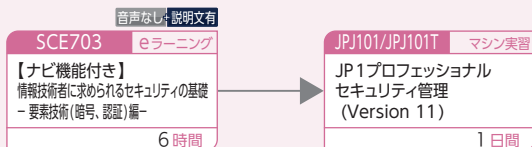
● ネットワークシステムを構築・運用・管理する方



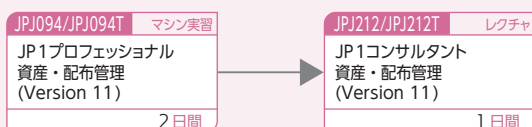
● Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方



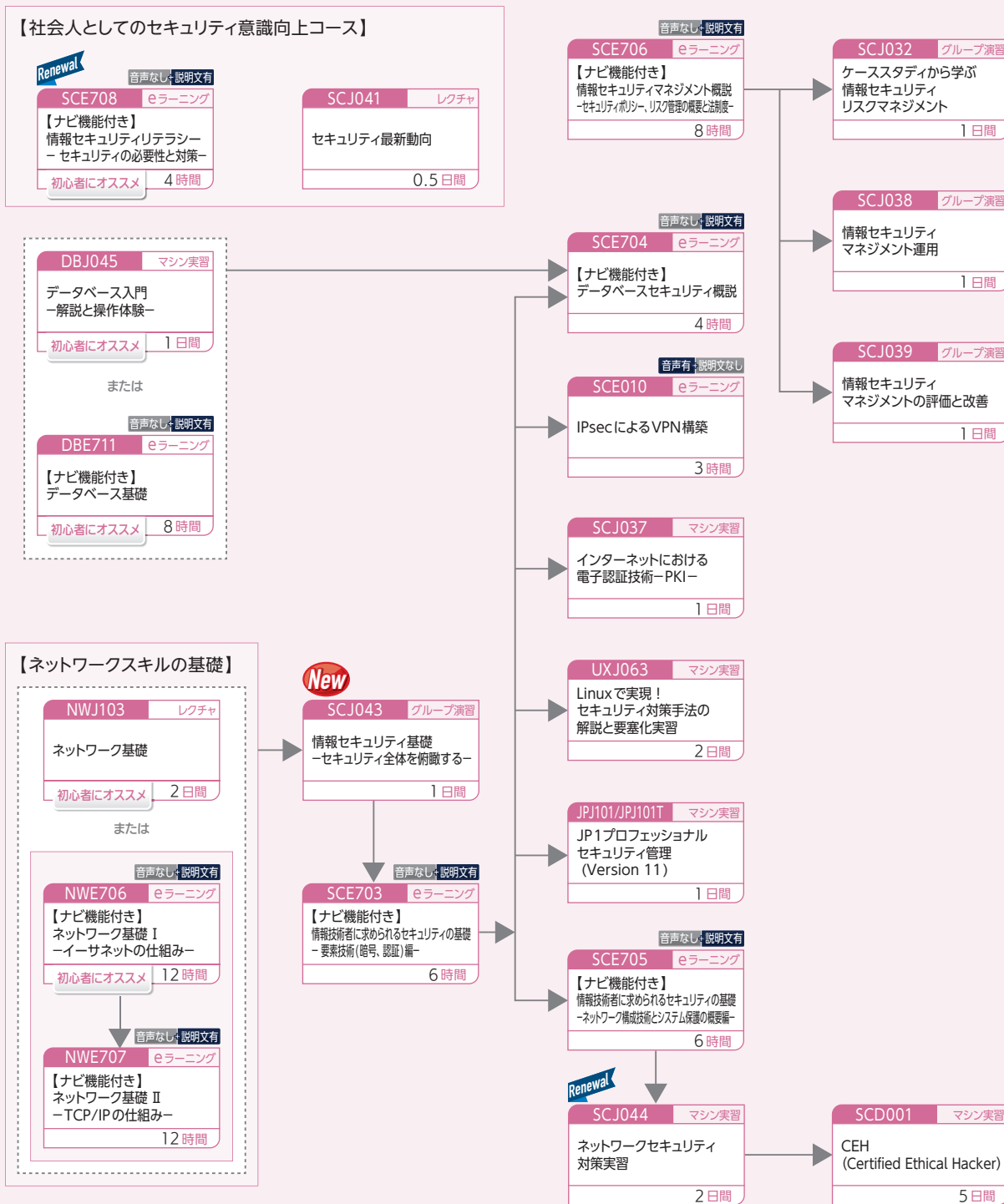
● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● セキュリティを実現する技術的手法/管理的手法について幅広く知りたい方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/ecc/index.html>

SCE708 情報セキュリティ

<eラーニング> [ナビ機能付き]
情報セキュリティリテラシー
—セキュリティの必要性と対策—

平均4時間

情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標 情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
 ・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
 ・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。

対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 情報セキュリティ概要
 2. 通常業務におけるリスクと対策
 3. Web利用におけるリスクと対策
 4. メール利用におけるリスクと対策
 5. コンプライアンス
 6. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SCE111 情報セキュリティ

<eラーニング>
サイバー攻撃対応基礎
(知識修得編)

平均3時間

サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。

到達目標 ・サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。
 ・サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。

対象者 情報システムを運用・管理する方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内容 1. 基礎知識修得編
 (1) 日常業務での注意点
 (2) サイバー攻撃への対処
 (3) 開発時の注意点
 (4) 脆弱性情報の収集と対策検討
 (5) インシデント発生時の備え
 (6) まとめ
 2. 体験学習編
 (1) 標的型攻撃による情報漏えい
 (2) ランサムウェア感染による業務妨害
 (3) Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃
 (4) 内部不正、過失による自社からの情報漏えい
 (5) サイバー攻撃を防ぐために

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※別途ご案内いたします。

SCJ045 情報セキュリティ

サイバー攻撃対応
コミュニケーション訓練 (実習編)

0.5日間

グループディスカッションを交えて、実際に起こりうるセキュリティインシデントケースを題材としたインシデント対応を疑似体験します。

到達目標 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応ができる。

対象者 情報システムを運用・管理する方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内容 1. セキュリティインシデントとは
 2. グループワークによるコミュニケーション訓練
 3. 各グループ発表
 4. 講評

備考 ・このコースは、9:30~12:30の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※別途ご案内いたします。

SCJ043 情報セキュリティ

情報セキュリティ基礎
—セキュリティ全体を俯瞰する—

1日間

近年、高度化・多様化するセキュリティの脅威の紹介を通し、日常業務の中で扱っているシステムやサービスに潜むセキュリティのリスクや対策手法の全体像について学習します。

到達目標 ・日々取り組む業務やお客様に提供するサービスに潜むセキュリティの脅威について、概要を説明できる。
 ・自分の関わる業務において、どこにどのようなセキュリティ対策が必要となるのか、その全体感を説明できる。

対象者 SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。
 ・日々取り組む業務やお客様に提供するサービスにおいてセキュリティは大切な要件だという認識がある一方で、常にセキュリティの脅威に晒されており不安を抱えている方。

前提知識 ITの基礎知識があること。

内容 1. セキュリティの概要とインシデント事例
 2. サイバー攻撃の手法とその対策
 3. システムへのアクセスに関するセキュリティ
 4. サーバやネットワークに関するセキュリティ
 5. データの保護に関するセキュリティ
 6. 不正操作に関するセキュリティ
 7. セキュリティマネジメント
 8. IT技術の動向とセキュリティ
 9. セキュリティに関する法規や制度

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SCJ041 情報セキュリティ

セキュリティ最新動向

0.5日間

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標 ・セキュリティの必要性が説明できる。
 ・最新のセキュリティ脅威を説明できる。
 ・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。

対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。

前提知識 オペレーティングシステム、及びネットワークに関する基本的な知識があること。

内容 1. 情報セキュリティの基礎
 2. 最新の攻撃方法と対策
 3. セキュリティ対策の実際
 4. 今後増加すると考えられる攻撃
 5. 新しい対策技術
 6. さらに知りたい人のために

備考 このコースは、13:00~16:30の開催とさせていただきます。

SCE706 情報セキュリティ

<eラーニング> [ナビ機能付き]
情報セキュリティマネジメント概説
—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—

平均8時間

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標 ・情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
 ・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
 ・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。

対象者 ・情報システムを運用・管理する方。
 ・情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。

内容 1. 情報セキュリティの概要
 2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念
 (1) 情報セキュリティマネジメントの概要
 (2) 情報セキュリティポリシーの概要
 3. リスクマネジメント
 (1) リスクアセスメント
 (2) リスク対応
 4. 情報セキュリティの維持
 (1) ISMS認証基準
 (2) インシデントレスポンス
 5. 情報セキュリティ関連の法規と規格
 (1) 個人情報保護
 (2) サイバー犯罪関連法規
 6. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ032 情報セキュリティ

ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント

1日間

「ISMSの国内および国際動向」、JIS Q 27001の「規格の要求事項」、「ISMS構築上のポイント」等を中心に解説し、演習を用いたリスクマネジメントの概要について学習します。

到達目標

- ・ JIS Q 27001の概要を説明できる。
- ・ ISMS管理策の概要を説明できる。
- ・ ケーススタディ演習において、リスクの洗い出し/リスク分析を実現できる。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JIS Q 27001概要(情報セキュリティとは)
2. JIS Q 27001規格解説
 - (1) ISMSの確立
 - (2) ISMSの導入、運用、監視、維持改善
 - (3) 経営陣の責任、ISMS内部監査
 - (4) マネジメントレビュー、ISMS改善
3. 演習：資産と脅威と脆弱性の特定
4. 管理策の解説
 - (1) 管理策概要
 - (2) 管理策の事例説明
5. 演習：リスクアセスメントのケーススタディ
講師：株式会社 日本環境認証機構

備考

- ・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・ このコースの申込締切日は、コース開始日の12営業日前とさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SCJ038 情報セキュリティ

情報セキュリティマネジメント運用

1日間

このコースでは、部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

到達目標

- ・ 部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業ができる。
- ・ 部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に従った適切な行動ができる。
- ・ 運用において重要である、インシデントの種類に応じた状況の把握と判断および初動、緊急対応、緊急対応後の措置、報告ができる。

対象者 ・ 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
・ IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 部門の情報セキュリティマネジメントの概要
 - (1) 情報セキュリティ環境変化の把握
 - (2) 部門で対応すべき事項
2. インシデントへの対応
 - (1) インシデント種別ごとの対応
 - (2) インシデント時の初動と対策の強化
 - (3) インシデントの報告
3. ケーススタディ
 - ・ インシデント発生への対応
 - ・ インシデントの判断
 - ・ 緊急的対応
 - ・ 緊急対応後の措置
 - ・ インシデント報告

備考

- ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・ 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SCJ039 情報セキュリティ

情報セキュリティマネジメントの評価と改善

1日間

このコースでは、情報セキュリティの評価の基準や部門の情報セキュリティ監査への対応、特に不適合への対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

到達目標

- ・ 評価基準、情報セキュリティ監査、セキュリティ対策の有効性評価ができる。
- ・ 是正処置、再発防止策、情報セキュリティ監査への対応や不適合への対応ができる。
- ・ 情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を策定することができる。

対象者 ・ 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
・ IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 情報セキュリティの評価
 - (1) 情報セキュリティ評価の基準
 - (2) 各種情報セキュリティ基準の活用場面
2. 情報セキュリティ監査への対応と改善
 - (1) 情報セキュリティの評価活動の分類
 - (2) 情報セキュリティ監査で問われること
 - (3) 情報セキュリティ監査への対応
 - (4) 不適合への対応
3. ケーススタディ
 - ・ 不適合への対応
 - ・ 情報セキュリティ監査の不適合の理解
 - ・ 不適合への対応
 - ・ 再発防止策
 - ・ 不適合の報告

備考

- ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・ 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

SEC703 セキュリティ技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-

平均6時間

安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。

到達目標

- ・ セキュリティ技術の必要性について説明できる。
- ・ 共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。
- ・ 認証の種類や代表的な方式について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. セキュリティの概要
2. 暗号技術
 - (1) 共通鍵暗号方式
 - (2) 公開鍵暗号方式
3. 認証技術
 - (1) ユーザ認証
 - (2) データ認証
4. 暗号や認証の利用例
 - (1) 公開鍵の信頼
 - (2) Web通信における利用例
 - (3) メール通信における利用例
5. 修了試験

備考

- ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

SEC705 セキュリティ技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-

平均6時間

ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。

到達目標

- ・ ファイアウォールの機能や種類について説明できる。
- ・ OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。
- ・ コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ファイアウォール
 - (1) ファイアウォールの役割
 - (2) ファイアウォールの種類
2. VPN (Virtual Private Network)
 - (1) VPNとは
 - (2) VPNの種類
3. OSの機能設定によるセキュリティ
4. コンピュータウイルス
 - (1) コンピュータウイルスの種類
 - (2) コンピュータウイルス対策
5. 修了試験

備考

- ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

SCJ044 セキュリティ技術

ネットワークセキュリティ対策実習

マシナ実習
2日間

実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学びます。

到達目標

- ・ 不正アクセスの手法や危険性が説明できる。
- ・ ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。
- ・ ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 攻撃方法とセキュリティ対策
2. ファイアウォール
3. ユーザ認証
4. 侵入検知システム
5. 安全な通信の実現

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SCE704 セキュリティ技術

<eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説

平均4時間

データベース管理システムの構築、運用において発生するセキュリティ脅威、対策および具体的なデータベースセキュリティ機能を学習します。

到達目標

- ・ ユーザ認証とユーザ管理、アクセス制御方法が説明できる。
- ・ ネットワーク経由でデータベースアクセスする際に必要となるセキュリティ技術が説明できる。
- ・ データベースへのアクセス監視が必要となる考え方が説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースおよび「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. データベースセキュリティ概要
2. ユーザ認証とユーザ管理
3. アクセス制御
4. セキュリティ監査
5. データ暗号化
6. SQLインジェクション対策
7. 修了試験

備考

- ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCE010 セキュリティ技術

<eラーニング>IPsecによるVPN構築

平均3時間

IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。

到達目標

- ・ VPNの概要やメリットが説明できる。
- ・ IPsecの仕組みが説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. VPN概要
 - (1) VPNを実現する技術
 - (2) VPNの接続形式
 - (3) VPNプロトコル
2. IPsec解説
 - (1) IPsecの概要
 - (2) セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ
 - (3) SA管理と鍵管理
3. 修了試験

備考

- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ037 セキュリティ技術

インターネットにおける電子認証技術-PKI-

1日間

このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子商取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。

到達目標

- ・ PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。
- ・ PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。
- ・ 情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方、電子商取引システムを構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. PKIの概要
2. 暗号技術と電子署名
3. 認証局と電子証明書
4. PKIによる電子認証のしくみ
5. PKIの活用
6. 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SCD001 セキュリティ技術

CEH (Certified Ethical Hacker)

マシン実習
5日間

・最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ペクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エンシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。

・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。

到達目標 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。

対象者 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. エンシカル・ハッキング概論
2. フットプリンティングおよび偵察
3. ネットワークのスキャン
4. 列挙
5. システムのハッキング
6. マルウェアの脅威
7. スニッフィング
8. ソーシャル・エンジニアリング
9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃)
10. セッション・ハイジャック
11. Webサーバのハッキング
12. Webアプリケーションのハッキング
13. SQLインジェクション
14. 無線ネットワークのハッキング
15. モバイル・プラットフォームのハッキング
16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避
17. クラウド・コンピューティング
18. 暗号化

備考

- ・ このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。
- ・ このコースは、EC-Councilの認定コースです。
- ・ このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。
- ・ 開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・ 受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。
- ・ コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。

※別途ご案内いたします。

SCE010 セキュリティ技術

<eラーニング>IPsecによるVPN構築

平均3時間

IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。

到達目標

- ・ VPNの概要やメリットが説明できる。
- ・ IPsecの仕組みが説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. VPN概要
 - (1) VPNを実現する技術
 - (2) VPNの接続形式
 - (3) VPNプロトコル
2. IPsec解説
 - (1) IPsecの概要
 - (2) セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ
 - (3) SA管理と鍵管理
3. 修了試験

備考

- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ037 セキュリティ技術

インターネットにおける電子認証技術-PKI-

1日間

このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子商取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。

到達目標

- ・ PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。
- ・ PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。
- ・ 情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方、電子商取引システムを構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

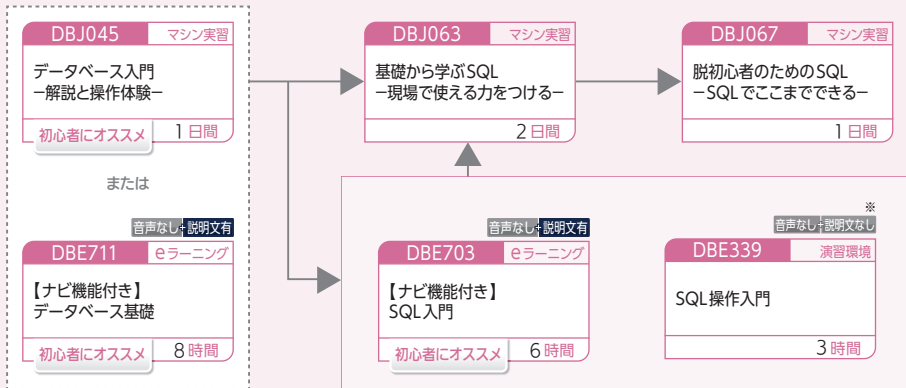
1. PKIの概要
2. 暗号技術と電子署名
3. 認証局と電子証明書
4. PKIによる電子認証のしくみ
5. PKIの活用
6. 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

データベース

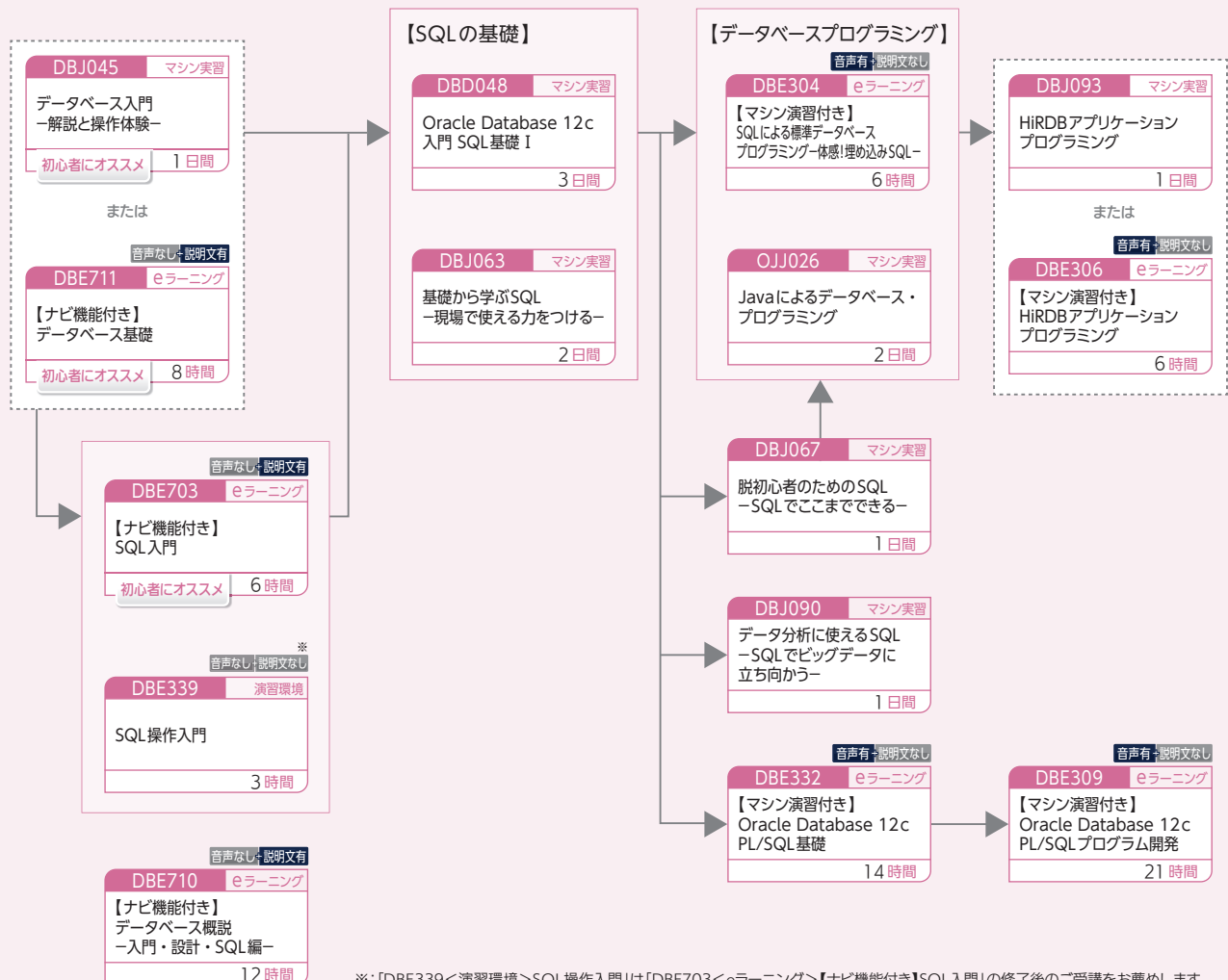
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

● データベースを利用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

● データベースを利用したアプリケーションを開発する方

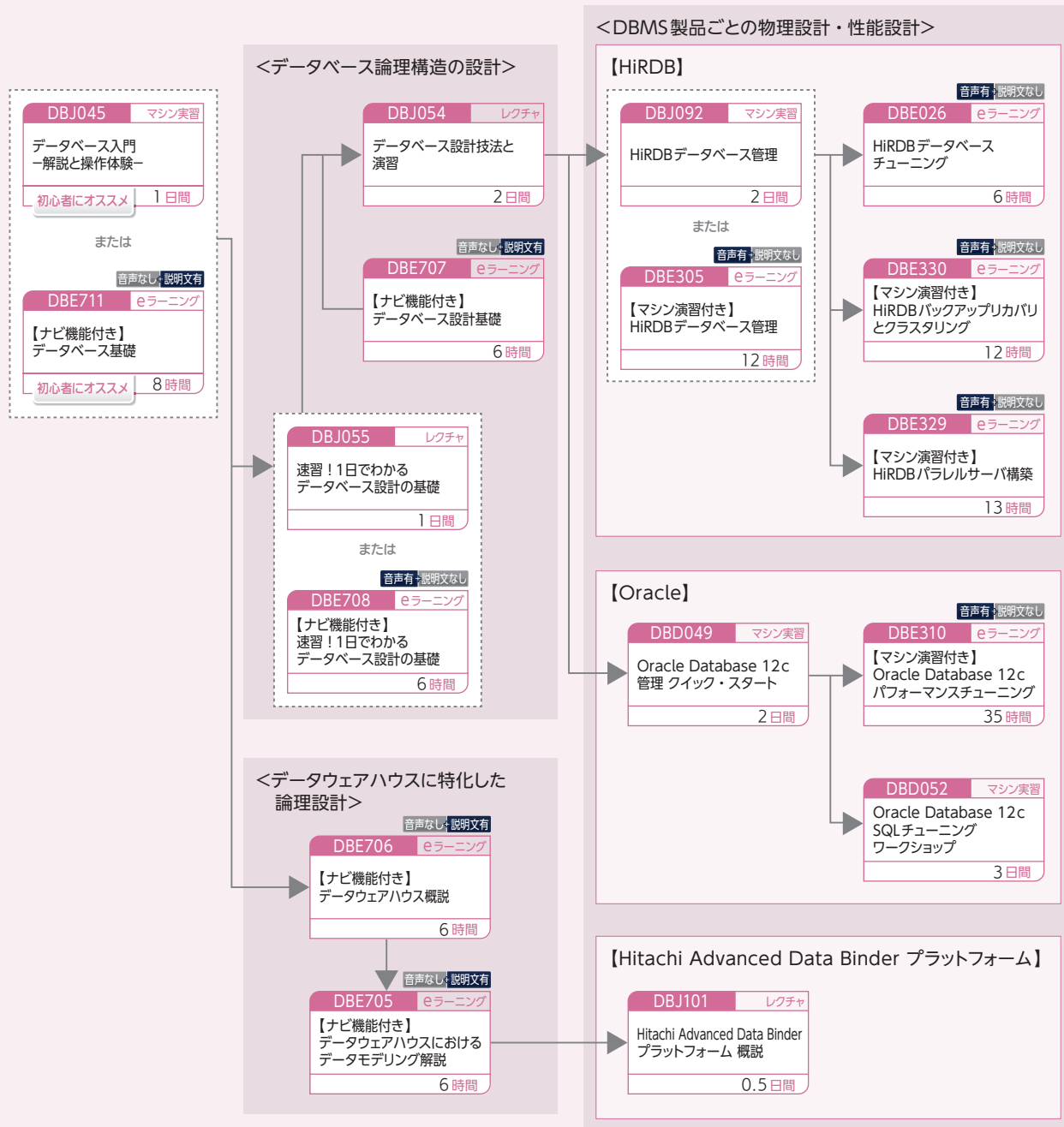


※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

- 音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● データベースを設計する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● データベースのチューニング方法を修得したい方

【標準】

DBJ067 マシン実習

脱初心者のためのSQL
-SQLでここまできせる-

1 日間

【HiRDB】

DBE026 音声有, 説明文なし eラーニング

HiRDBデータベース
チューニング

6 時間

DBJ095 マシン実習

HiRDBアプリケーション
チューニング

2 日間

または

DBE318 音声有, 説明文なし eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDB アプリケーション
チューニング

13 時間

【Oracle】

DBD052 マシン実習

Oracle Database 12c
SQLチューニング
ワークショップ

3 日間

DBE310 音声有, 説明文なし eラーニング

【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
パフォーマンスチューニング

35 時間

● データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方

DBJ045 マシン実習

データベース入門
-解説と操作体験-

初心者におすすめ 1 日間

または

DBE711 音声なし, 説明文有 eラーニング

【ナビ機能付き】
データベース基礎

初心者におすすめ 8 時間

DBE706 音声なし, 説明文有 eラーニング

【ナビ機能付き】
データウェアハウス概説

6 時間

DBE705 音声なし, 説明文有 eラーニング

【ナビ機能付き】
データウェアハウスにおける
データモデリング解説

6 時間

DBJ101 レクチャ

Hitachi Advanced Data Binder
プラットフォーム 概説

0.5 日間

● オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方

DBJ009 レクチャ

OpenTP1基礎

1 日間

または

DBE709 音声なし, 説明文有 eラーニング

【ナビ機能付き】
OpenTP1基礎

6 時間

【推奨】

DBE704 音声なし, 説明文有 eラーニング

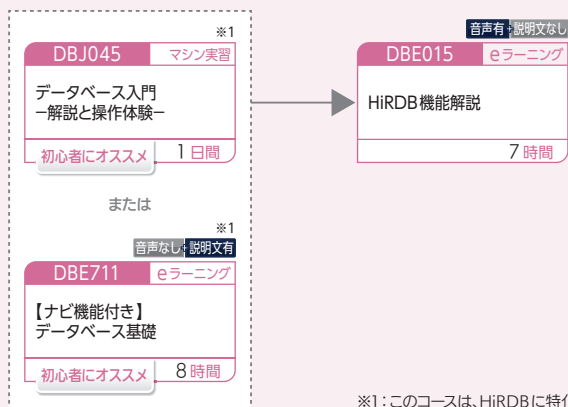
【ナビ機能付き】
OLTP 概説

7 時間

- 音声有, 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有, 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし, 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

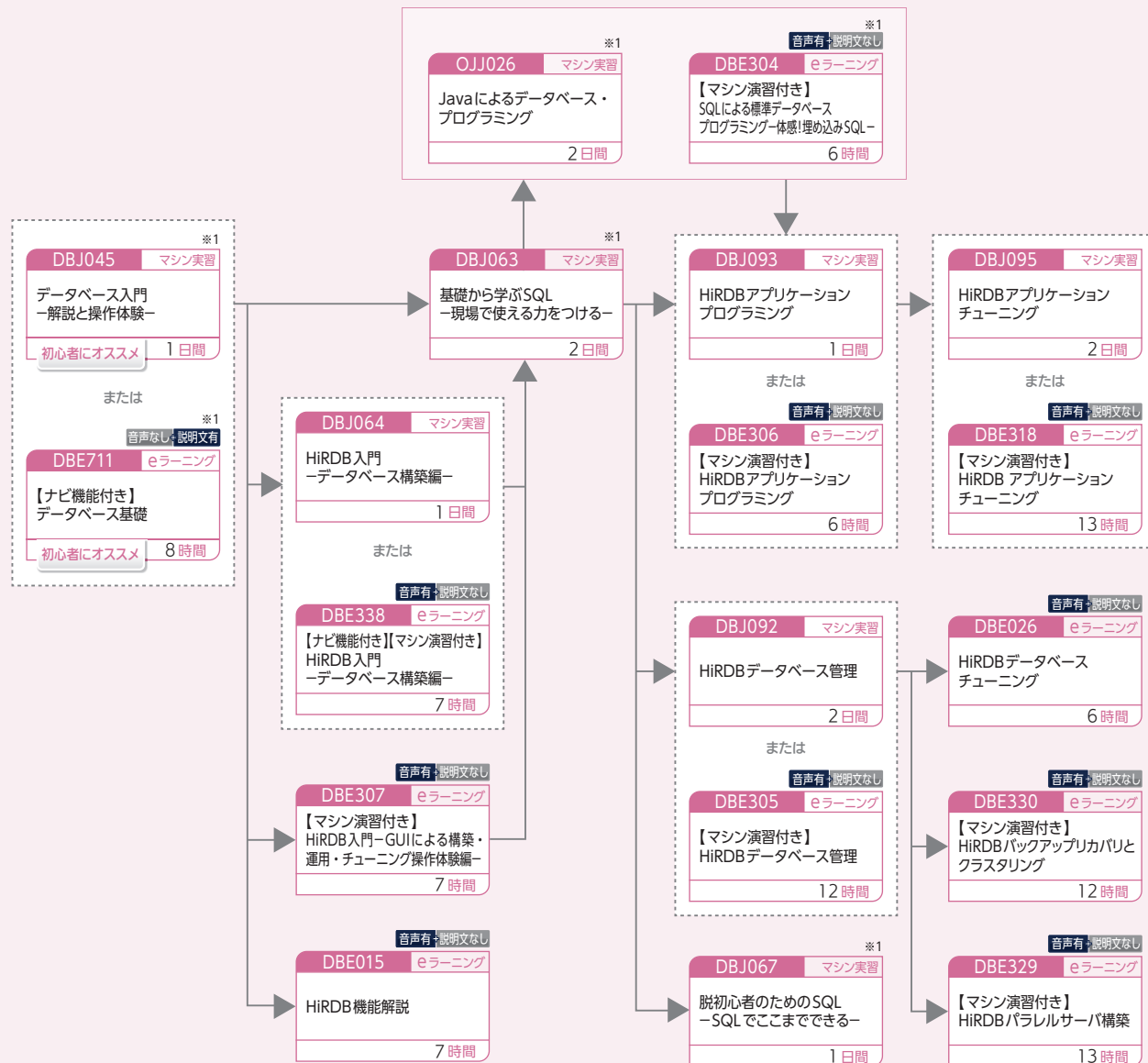
初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● HiRDBの概要を修得したい方



※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

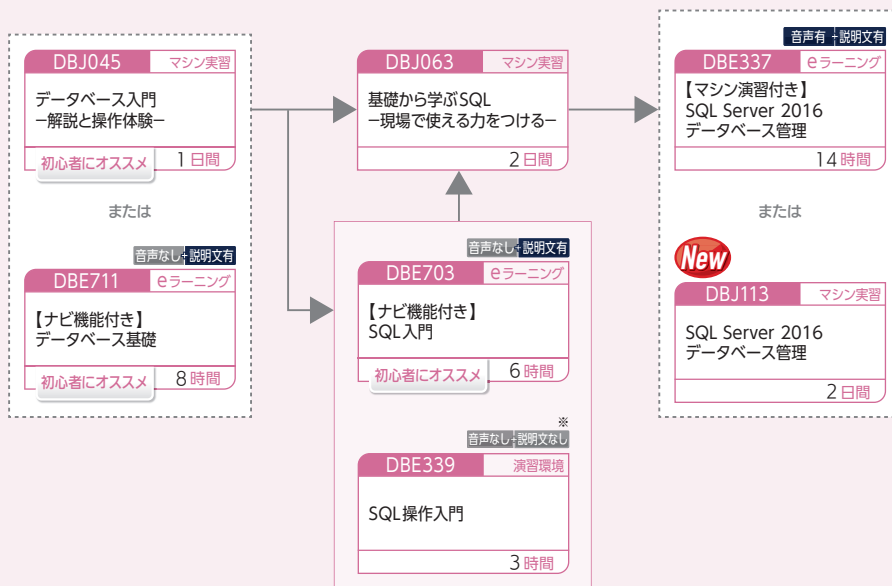
● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



- 音声有, 説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有, 説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし, 説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

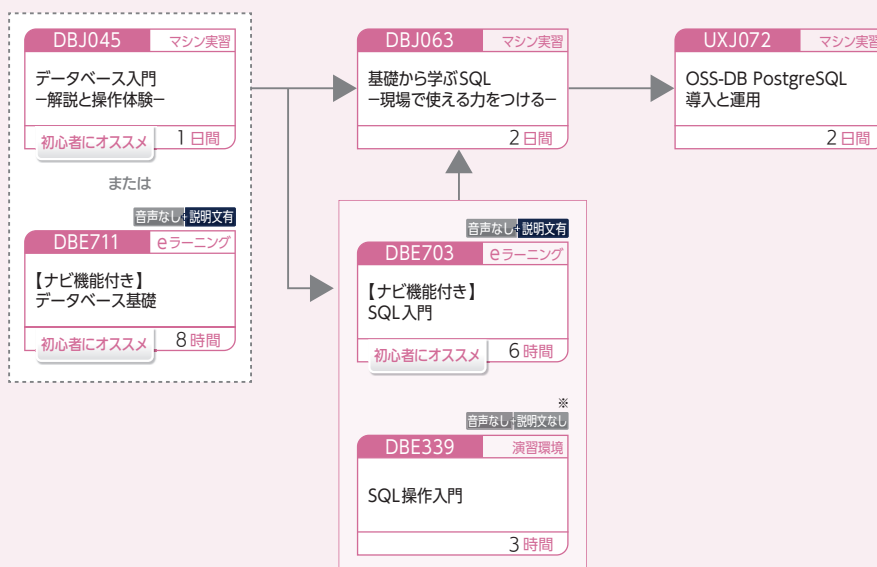
初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方

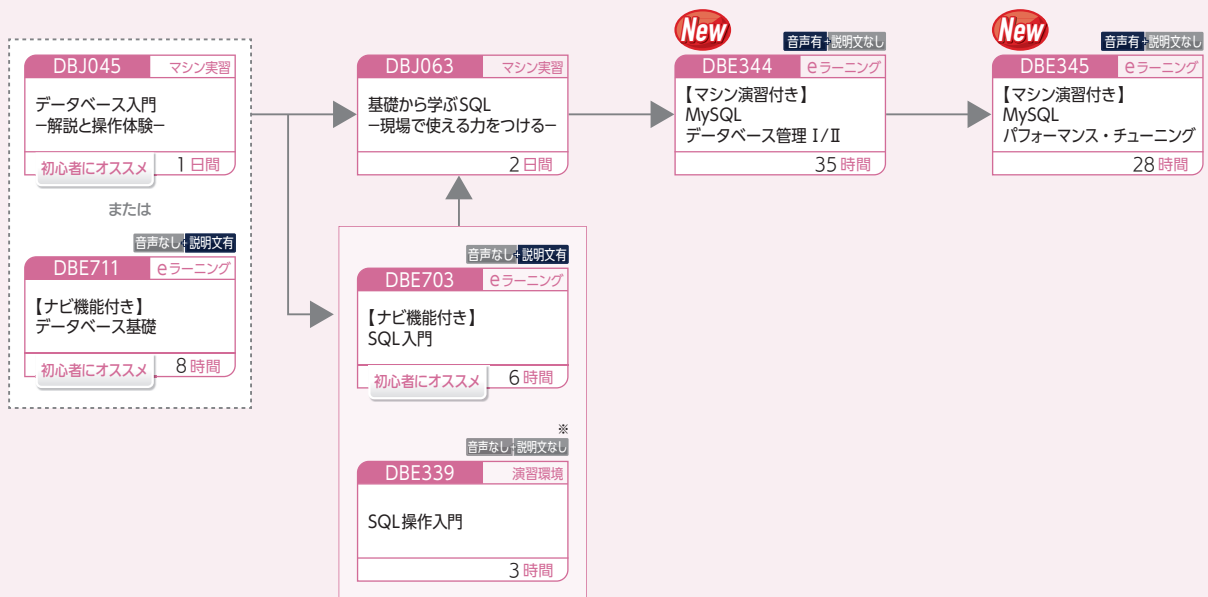


※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

- 音声有+説明文有**: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし**: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有**: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● MySQL を使用してデータベースを管理・運用する方

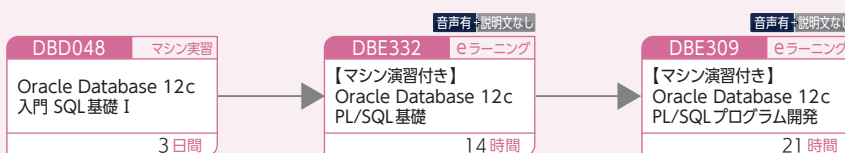


※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

● Oracleのチューニング方法を修得したい方



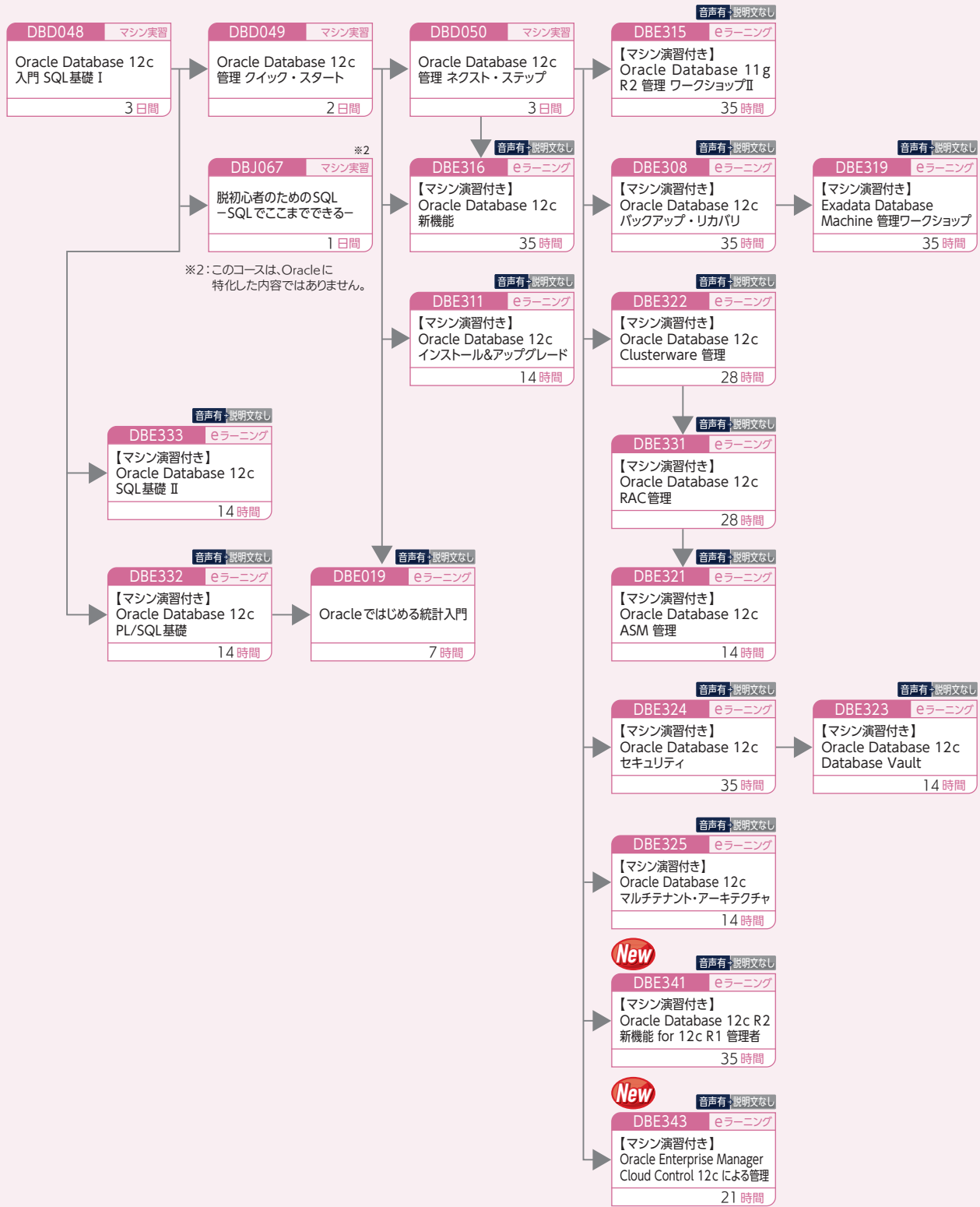
● Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

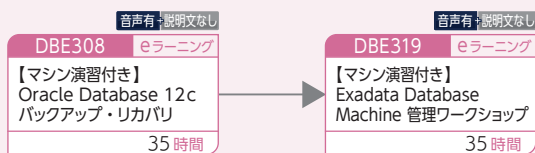
● Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方



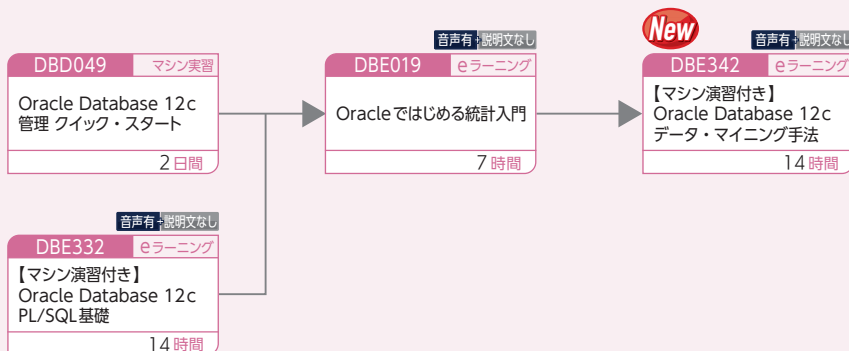
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

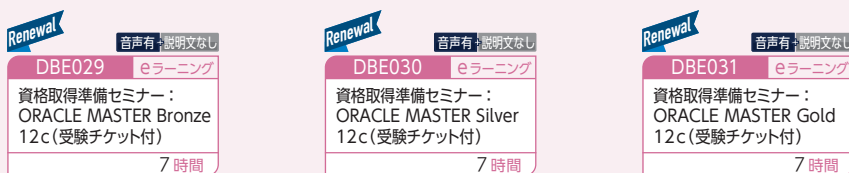
● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



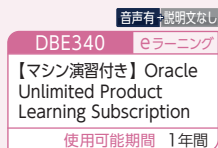
● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



- 音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



DBJ045 共通

**データベース入門
—解説と操作体験—**

マシン実習
1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。
- 基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- データベースとデータモデル
- DBMSの基本機能
 - データ独立性
 - データの機密保護
 - トランザクション
 - 同時実行制御
 - 整合性制約
 - 障害回復
 - インデックス
- SQL概要
 - リレーショナルデータベースの基本操作
 - SQLの種類
 - SQL構文

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE711 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース基礎**

平均8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標

- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- データベースの概念
- DBMS基本機能
- データモデル
- データベース設計
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

DBJ063 共通

**基礎から学ぶSQL
—現場で使える力をつける—**

マシン実習
2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標

- リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
- リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
- SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
- リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者 SQLの知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- リレーショナルデータベースとSQLの概要
- SQLによるデータ検索
 - 全件検索
 - 探索条件
 - 結合
 - 集合関数
 - グループ化
 - 並び替え
 - 集合演算
 - 副問合せ
- SQLによるデータ追加/更新/削除
- SQLによるトランザクションの制御
- SQLによるデータ定義
 - 表の定義
 - ビューの定義
 - インデックスの定義

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
SQL入門**

平均6時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標

- データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

内容

- リレーショナルデータベースとSQL
- データ操作文(DML)
 - 検索処理
 - 追加処理
 - 更新処理
 - 削除処理
- データ定義文(DDL)
 - 表の定義
 - 参照制約
 - ビュー表
- データ制御文(DCL)
 - データの確定
 - データの取り消し
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE339 共通

<演習環境>SQL操作入門

平均3時間

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 SQLによる基本的なデータ操作ができる。

対象者 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

前提知識 【ナビ機能付き】SQL入門eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- SQL実行環境
- SQL実行演習

備考

- このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
- このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/mc/index.html>
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ055 共通

**速習! 1日でわかる
データベース設計の基礎**

レクチャ
1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- データベース設計の概要
- ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 - ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 - 正規化
 - ER図の作成
 - 確認作業—トップダウンアプローチの観点からの確認—
- データベース物理設計
 - テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 - 領域配置図の作成
- データベース性能設計
 - インデックス設計

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

DBE710 共通

<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース概説
入門・設計・SQL編

平均12時間

データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。

到達目標 ・データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。
 ・ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。

対象者 データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. データベースの基礎知識
 2. データベース設計
 3. SQLの操作法
 4. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE708 共通

<eラーニング>【ナビ機能付き】
速習! 1日でわかる
データベース設計の基礎

平均6時間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. データベース設計の概要
 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 (1) ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 (2) 正規化
 (3) ER図の作成
 (4) 確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認-
 3. データベース物理設計
 (1) テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 (2) 領域配置図の作成
 4. データベース性能設計
 (1) インデックス設計
 5. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ054 共通

データベース設計技法と演習

2日間

演習を通じ、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。

到達目標 ・データベース設計技法について理解し説明できる。
 ・データベースの論理構造の設計ができる。

対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. データモデル
 (1) データモデルとは
 (2) ERモデル
 (3) リレーショナルモデル
 2. 正規化
 (1) 正規化のねらい
 (2) 正規化理論の前提知識
 (3) 正規化手順
 3. 論理構造の設計手順
 (1) 論理構造の設計手順概要
 (2) トップダウンアプローチ例題
 (3) ボトムアップアプローチ例題
 4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作
 (1) RDBMSへ実装可能な形式への変形
 (2) 非正規化

備考 このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

DBE707 共通

<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース設計基礎

平均6時間

データベース設計手順についての基礎理論を、e-ラーニングでの演習を通して学習します。

到達目標 ・基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。
 ・設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. データベース設計概要
 2. ERモデルとER図
 3. 正規化
 4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題
 5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題
 6. 修了試験

備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE304 共通

<eラーニング>【マシン演習付き】
SQLによる標準データベースプログラミング
一体感! 埋め込みSQL-

平均6時間

埋め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 埋め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。

対象者 埋め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関する知識があること。

内容 1. SQLの基礎
 2. 埋め込みSQLを用いたAP作成
 3. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、旧「演習で学ぶ埋め込みSQLプログラミング」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBJ067 共通

脱初心者のためのSQL
-SQLでここまでできる-

1日間

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

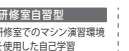
到達目標 ・EXISTS述語の使用法を理解し説明できる。
 ・NOT EXISTS述語の使用法を理解し説明できる。
 ・相関副問合せの使用法を理解し説明できる。
 ・自己結合の使用法を理解し説明できる。
 ・CASE式の使用法を理解し説明できる。

対象者 高度なSQL文の知識を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 演習環境概要
 2. 高度なSQL文
 (1) EXISTS述語を使用した存在チェック
 (2) 相関副問合せを使用したランキング表示
 (3) 分析関数を使用したランキング表示
 (4) CASE式を使用したSELECT句での条件分岐
 (5) 自己結合を使用した組み合わせ表示
 (6) NOT EXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理

備考 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



DBJ090 共通

**データ分析に使えるSQL
-SQLでビッグデータに立ち向かう-**

1日間

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- SQLによるデータ分析の概要を説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。

対象者 SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- データ分析概要
- 高度なSQL文
 - CASE式
 - 相関副問合せ
- SQL分析関数
 - ウィンドウ関数
 - レポート関数
 - LAG/LEAD関数
 - 中間データの加工-副問合せと共通表式(WITH句)-

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBE704 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
OLTP概説**

平均7時間

OLTP (オンライントランザクション処理)の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

到達目標

- トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。
- 様々なOLTPシステム構成について理解し、説明できる。
- DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。

対象者 オンライントランザクションシステムを構築する方。
分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- トランザクション処理とは
- トランザクション処理の変遷
- OLTPの特徴
- OLTPのシステム要件
- OLTPのシステム構成
- The Open Group DTPモデル
- OLTPシステムの基本機能
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE337 SQL Server

**<eラーニング>【マシン演習付き】
SQL Server 2016 データベース管理**

平均14時間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

到達目標

- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。

対象者 SQL Serverを管理する方。
アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- SQL Server 2016概要
- インストールと環境設定
- データベースファイルの管理
- データベースコンポーネントの管理
- ユーザーの管理
- バックアップと障害回復

備考

- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBJ113 SQL Server

**SQL Server 2016
データベース管理**

2日間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

到達目標

- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。

対象者 SQL Serverを管理する方。
アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- SQL Server 2016概要
- インストールと環境設定
- データベースファイルの管理
- データベースコンポーネントの管理
- ユーザーの管理
- バックアップと障害回復

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

DBE344 Oracle

**<eラーニング>
【マシン演習付き】
MySQL データベース管理 I / II**

平均35時間

MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容について学習します。

到達目標 ユーザー権限の保護、リソースの制限事項とアクセス制御の設定、およびバックアップとリカバリ用の基礎、ストアド・プロシジャ、トリガーおよびビューの作成および使用方法について修得できる。

対象者 MySQLの知識修得をされた方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 概要
- MySQLアーキテクチャ
- システム管理
- サーバー構成
- クライアントおよびツール
- データ型
- メタデータの取得
- トランザクションおよびロック
- InnoDBストレージ・エンジン
- 他のストレージ・エンジン
- パーティショニング
- ユーザー管理
- セキュリティ
- データの保護
- データのエクスポートおよびインポート
- MySQLでのプログラミング
- ビュー
- MySQLのバックアップおよびリカバリ
- レプリケーションの概要
- パフォーマンス・チューニングの概要
- まとめ

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 <http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、旧「Oracle Database 12c: 新機能」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE345 Oracle

**<eラーニング>
【マシン演習付き】
MySQL パフォーマンス・チューニング**

平均28時間

さまざまなツールを使用して、サーバー、データベース、およびクエリを構成、モニタリングおよびトラブルシューティングするためのベスト・プラクティスを学習します。

到達目標 MySQLツールを使用してアプリケーションの速度、効率性および安全性を保つためのさまざまな構成オプション、モニタリング・ツールおよび技術の使用法を修得できる。

対象者 MySQLのパフォーマンス・チューニングを担当される方。

前提知識 「【マシン演習付き】MySQL データベース管理 I/II」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 概要
- パフォーマンス・チューニングの概念
- パフォーマンス・チューニングのツール
- パフォーマンス・スキーマ
- メモリ、接続およびスレッド
- テーブル、ファイルおよびログ
- ステートメントのモニタリング、ソート・パッファおよびクエリ・キャッシュ
- InnoDB ストレージ・エンジン
- スキーマ設計およびパフォーマンス
- クエリの最適化
- パフォーマンス問題のトラブルシューティング
- アプリケーション環境に合わせたMySQLの最適化
- ハードウェアの最適化
- まとめ

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 <http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報やOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、旧「Oracle Database 12c: 新機能」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE316 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c 新機能

平均2.5時間

Oracle Database 12cの新機能と強化された機能について学習します。Oracle Database 12cによって管理性、セキュリティ、およびパフォーマンスが向上する仕組みを学習します。

到達目標

- Oracle Database 12cの新機能について説明できる。
- Oracle Database 12cで強化された機能について説明できる。
- Oracle Database 12cのパフォーマンスについて説明できる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Oracle Database 11gに関する十分な知識があること。

内容

- Oracle Database 12cの各種ツールの新機能
- Oracle Database 12cの監査・権限・監視機能の拡張
- Oracle Database 12cのパフォーマンスの拡張
- Oracle Database 12cのSQL機能拡張

備考

- このコースは、旧「Oracle Database 12c: 新機能」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- 本ページ右下※1をご参照ください。

DBD048 Oracle

Oracle Database 12c 入門
SQL基礎 I

3日間

リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。

到達目標

- SQL関数(TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど)でデータを加工して取得できる。
- 複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。
- INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。
- 表を作成、管理できる。

対象者 Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- SQL SELECT文を使用したデータの取得
- データの制限とソート
- 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ
- 変換関数と条件式の使用法
- グループ関数を使用した集計データのレポート
- 結合を使用した複数の表のデータの表示
- 集合演算子の使用
- DML文を使用した表の管理
- データ定義言語の概要

備考

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE333 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
SQL基礎 II

平均14時間

スキーマ・オブジェクトの管理、データ・ディクショナリ・ビューの使用法、および応用的な問い合わせやデータセットの操作や正規表現を使用など効率的なSQLの記述方法を学習します。

到達目標

- スキーマオブジェクトの管理やデータディクショナリ・ビューを使用することができる。
- 副問い合わせを活用して効率的な問い合わせを行うことができる。
- 正規表現を使用した複雑な問い合わせを行うことができる。

対象者 Oracle Database 12cを使用したアプリケーションを開発する方。

前提知識 Oracle Database 12cに関する基本的な知識があること、および基本的なSQLに関する知識があること。

内容

- データ・ディクショナリ・ビューの概要
- 順序、シノニム、索引の作成
- ビューの作成
- スキーマ・オブジェクトの管理
- 副問い合わせを使用したデータの取得
- 副問い合わせを使用したデータの操作
- ユーザーアクセスの制御
- データの操作
- 異なるタイム・ゾーンのデータの管理

備考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBD049 Oracle

Oracle Database 12c 管理
クイック・スタート

2日間

Oracleデータベースのインストールから環境構築、記憶域の管理、バックアップ・リカバリなど、データベース管理者の第一歩となる基礎的な技術を、マシン演習を通して学習します。

到達目標

- Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。
- Enterprise Manager Database Expressを用いたデータベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。
- Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。
- データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Oracleデータベース管理の概要
- データベースのインストールおよび作成
- Oracle Enterprise Manager Database ExpressとSQLベース管理ツールの使用
- Oracleネットワーク環境の構成
- Oracleインスタンスの管理
- データベース記憶域構造の管理
- ユーザーおよびセキュリティの管理
- スキーマ・オブジェクトの管理
- バックアップおよびリカバリの実行
- データベースの監視およびアドバイザの使用
- ソフトウェアの管理

備考

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBD050 Oracle

Oracle Database 12c 管理
ネクスト・ステップ

3日間

データベースの環境構築、オブジェクト管理、セキュリティ管理、バックアップ・リカバリを行う際に必要な知識や操作方をより深く学習します。

到達目標

- Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。
- 記憶域構造の作成および管理ができる。
- Oracleネットワーク環境の構成ができる。
- データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。
- バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Silver Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Oracle Databaseアーキテクチャの確認
- データベース・インスタンスの管理
- Oracleネットワーク環境の構成
- ユーザー・セキュリティの管理
- データベース記憶域構造の管理
- 領域の管理
- データ同時実行性の管理
- Oracle Database監査の実装
- バックアップおよびリカバリ
- データの移動
- データベースのメンテナンス
- パフォーマンスの管理

備考

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

※1

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
- お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンド」について「内の学習利用環境を必ずご確認ください。」
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE332 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c PL/SQL基礎

平均14時間

基本的なPL/SQLプログラミングを学習します。制御文、明示カーソル、例外処理、ストアド・プロシージャ、ファンクションの概要など、プログラムを作成する上で必須の内容について学習します。

到達目標

- PL/SQLのプログラミング構造を理解し作成できる。
- 効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックを作成できる。
- データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。
- 実行時エラーの処理を理解し活用できる。

対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 [Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I]コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

- はじめに
- PL/SQLの概要
- PL/SQL変数の宣言
- 実行文の記述
- PL/SQLブロック内でのSQL文の使用
- 制御構造の記述
- コンポジット・データ型の処理
- 明示カーソルの使用
- 例外の処理
- ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成

備考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBE309 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発

平均21時間

基礎的なPL/SQL知識をお持ちの開発者向けのコースです。ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーなどのPL/SQLストアド・プロシージャの開発・運用・管理を学習します。

到達目標

- ストアド・プロシージャおよびファンクションを作成できる。
- PL/SQLパッケージの設計による関連構造のグループ化および包含を説明できる。
- PL/SQLサブプログラム間の依存関係を管理できる。

対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 [【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎I]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- ストアド・プロシージャの作成
- ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ
- パッケージの作成
- パッケージの使用
- アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用
- 動的SQLの使用
- PL/SQLコードの設計上の考慮事項
- トリガーの作成
- 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成
- PL/SQLコンパイラの使用
- 依存性の管理

備考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBD052 Oracle

Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ

3日間

自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。

到達目標

- 効率の悪いSQL文を識別できる。
- SQL文を最適に実行するために改良できる。
- アプリケーション・トレースを使用できる。
- オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。

対象者 Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。

前提知識 [Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Oracle Databaseアーキテクチャの検討
- SQLチューニングの概要
- オプティマイザの概要
- オプティマイザ演算子
- 実行計画の解釈
- ケース・スタディ：スター型変換
- オプティマイザ統計
- バインド変数の使用
- オプティマイザ・ヒントの使用
- アプリケーション・トレース
- SQLチューニングの自動化

備考

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材[eKit](PDF)を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE308 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ

平均35時間

バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。

到達目標

- 適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。
- リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。
- フラッシュバック・テクノロジーを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。

対象者 Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。

前提知識 [Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- リカバリ可能性の構成
- RMANリカバリ・カタログの使用
- バックアップ計画および用語
- バックアップの実行
- バックアップの向上
- RMANによる暗号化バックアップの使用
- 障害の診断
- リストアおよびリカバリの概要
- リカバリの実行(パート1)
- リカバリの実行(パート2)
- RMANおよびOracle Secure Backup
- フラッシュバック・テクノロジーの使用
- フラッシュバック・データベース
- データの転送
- Point-in-Timeリカバリの実行
- データベースの複製
- RMANパフォーマンスおよびチューニング
- バックアップおよびリカバリ・ワークショップ

備考 本ページ右下※1をご参照ください。

DBE310 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング

平均35時間

SQLチューニング・アドバイザ、SQLアクセス・アドバイザ、自動ワークロード・リポジトリヤ自動データベース診断モナなどのOracle Database自動チューニング機能の使い方を学習します。

到達目標

- DB統計およびメトリックを使用したパフォーマンス問題が認識できる。
- チューニング診断を活用できる。
- チューニング・ツールの目的と使用方法を理解できる。
- 問題のあるSQL文を認識できる。

対象者 Oracleデータベースのパフォーマンス・チューニング知識を必要とする方。

前提知識 [Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ]コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- パフォーマンス・チューニング概要
- 基本ツールを使用した監視
- 自動ワークロード・リポジトリ(AWR)の使用
- 問題の認識
- 問題のあるSQL文の認識
- オプティマイザの適用
- SQL計画管理
- 変更の管理
- メトリックおよびアラートの使用
- AWR関連ツールの使用
- サービスを使用したアプリケーションの監視
- ベースライン
- 共有プールのチューニング
- バッファ・キャッシュのチューニング
- PGAおよび一時領域
- 自動メモリー管理
- ブロック領域使用量のチューニング
- I/Oのチューニング
- まとめ

備考 本ページ右下※1をご参照ください。

※1

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材[eKit](PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE311 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
インストール&アップグレード
 平均14時間

Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。

到達目標

- ・ スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストールができる。
- ・ Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。
- ・ Oracle Database 12c へのアップグレードができる。

対象者 Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。

前提知識 [Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート] コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Oracle Database 12c 概要
2. スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストール
3. Oracle Databaseソフトウェアのインストール
4. DBCA を使用した Oracle Database の作成
5. Oracle Restart の使用
6. Oracle Database 12c へのアップグレードの概要
7. Oracle Database 12c へのアップグレードの準備
8. Oracle Database 12c へのアップグレード
9. アップグレード後の作業の実行
10. Oracle Data Pump を使用したデータの移行

備考

- ・ このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- ・ 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE315 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 11g R2 管理
ワークショップⅡ
 平均35時間

バックアップ・リカバリのアーキテクチャおよびテクニックや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。

到達目標

- ・ Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。
- ・ 最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。
- ・ データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。
- ・ リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。

前提知識 [Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート]および「Oracle Database 11g 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. Oracle Databaseの主要な概念およびツール
2. リカバリ可能性のための構成
3. Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用

備考

- ・ このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- ・ このコースは、旧「Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップⅡ」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・ 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE319 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Exadata Database Machine
管理ワークショップ
 平均35時間

Exadata Database Machine (X3/X4/X5対応) の様々な機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。

到達目標 ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。

対象者 Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) を管理する方。

前提知識 Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること、および Unix/Linuxの実用的な知識があること。

内容

1. Exadata Storage Serverの構成
2. I/Oリソース管理
3. データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項
4. スマート・スキャンの使用
5. 統合の推奨ストレージ構成
6. Exadata Database Machine へのデータベースの移行
7. Oracle DBFS を使用したバルク・データ・ロード
8. Exadata Database Machine のプラットフォーム監視: はじめに
9. Exadata Database Machineを監視するための Enterprise Manager Cloud Control 12cの構成
10. Exadata Storage Servers の監視
11. データベース・サーバーの監視
12. InfiniBandネットワークの監視
13. その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視
14. その他の役立つ監視ツール
15. バックアップとリカバリ
16. Exadata Database Machineのメンテナンス・タスク
17. Exadata Database Machineのパッチ適用

備考

- ・ このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- ・ 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE322 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
Clusterware 管理
 平均28時間

一般的なクラスタスの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。

到達目標

- ・ Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタスおよび Oracle Flex インスタンスを構成できる。
- ・ クラスタス内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタス管理を行うことができる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内容

1. Oracle Clusterware のアーキテクチャ
2. Grid Infrastructure のインストール
3. クラスタス・ノードの管理
4. 従来の Clusterware の管理
5. ポリシーベースのクラスタス管理
6. Oracle Clusterware のトラブルシューティング
7. アプリケーションの高可用性

備考

- ・ このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- ・ 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE331 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c RAC管理
 平均28時間

Oracle Database 12c RAC アーキテクチャの理解、RAC データベースを構成方法、マルチテナント環境での RAC データベースの管理に加えて、バックアップ・リカバリや RAC 環境での高可用性について学習します。

到達目標

- ・ RAC データベース環境を構成できる。
- ・ RAC データベースの管理を行うことができる。
- ・ RAC データベースのバックアップ・リカバリを行うことができる。
- ・ RAC データベースの高可用性機能について説明できる。

対象者 Oracle Database 12c RACデータベースを管理する方。

前提知識 Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内容

1. Oracle RAC アーキテクチャ
2. Oracle RAC の構成と管理
3. バックアップ・リカバリ
4. RAC の監視とチューニング
5. RAC 環境での高可用性
6. RAC One Note

備考

- ・ このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- ・ 本ページ右下※2をご参照ください。

※2

- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・ このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- ・ このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材[eKit](PDF)を使用します。
- ・ 受講に必要な情報は、開始日際にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- ・ このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・ このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ・ ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE321 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
ASM 管理

平均14時間

Oracle ASMのアーキテクチャやACFSの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。

到達目標 Oracle ASM や ACFS の管理を行うことができる。
 ・ Flex ASM を構成することができる。
 ・ ACFS 監査やACFS暗号化、高可用性NFSなど Oracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内容 1. Oracle ASM インスタンスの管理
 2. Flex ASM
 3. ASM ディスク・グループの管理
 4. ASM ファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理
 5. Oracle Cloud File System の管理

備考 ・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
 ・本ページ右下※2をご参照ください。

DBE324 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
セキュリティ

平均35時間

Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した機密データを保護する方法を学習します。

到達目標 OracleのOracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内容 1. セキュリティ要件について
 2. セキュリティ・ソリューションの選択
 3. 基本的なデータベース・セキュリティの実装
 4. ネットワーク上のデータの保護
 5. ユーザーの基本認証および厳密認証の資料
 6. グローバル・ユーザー認証の構成
 7. プロキシ認証の使用
 8. 権限とロールの使用
 9. 権限分析の使用
 10. アプリケーション・コンテキストの使用
 11. 仮想プライベート・データベースの実装
 12. Oracle Label Security の実装
 13. データのリダクション
 14. Oracle データ・マスキングの使用
 15. 透過的機密データ保護の使用
 16. 暗号化の概念とソリューション
 17. DBMS_CRYPTO バックアップによる暗号化
 18. 透過的データ暗号化の使用
 19. データベース・ストレージのセキュリティ
 20. 統合監査の使用
 21. ファイングレイン監査の使用

備考 ・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
 ・本ページ右下※2をご参照ください。

DBE323 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
Database Vault

平均14時間

Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。

到達目標 Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 SQLおよびPL/SQLに対する基本的な知識があること。

内容 1. Database Vaultの概要
 2. Database Vaultの構成
 3. 権限の分析Configuring Realms
 4. レルムの構成
 5. ルール・セットの定義
 6. コマンド・ルールの構成
 7. ルール・セットの拡張
 8. セキュア・アプリケーション・ロールの構成
 9. Database Vaultレポートによる監査
 10. ベスト・プラクティスの実装

備考 ・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
 ・本ページ右下※2をご参照ください。

DBE325 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
マルチテナント・アーキテクチャ

平均14時間

Oracle Database 12c の新機能であるマルチテナント・アーキテクチャの概念を学習します。

到達目標 マルチテナント・コンテナ・データベースの作成、管理ができる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方、Oracle Database 12cを設計する方。

前提知識 Oracle Database 12c, Linux OSに関する十分な知識があること。

内容 1. コンテナおよびプラグブル・データベースのアーキテクチャ
 2. CDBおよびPDBの作成
 3. CDBおよびPDBの管理
 4. CDBおよびPDBの記憶域の管理
 5. CDBおよびPDBのセキュリティの管理
 6. 可用性の管理
 7. パフォーマンスの管理
 8. その他

備考 ・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
 ・本ページ右下※2をご参照ください。

DBE341 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
R2 新機能 for 12c R1 管理者

平均35時間

Oracle Database 12c R1 データベース管理者を対象に Oracle Database 12c R2 の新機能を学習します。さらに Oracle Database Cloud Service の概要についても学習します。

到達目標 マルチテナント、セキュリティ、可用性、パフォーマンス、管理性、パーティション化、SQLなど、さまざまなOracle Database 12c Release 2(12.2.0.1)の新機能や機能拡張について説明できる。

対象者 Oracle Database 12c R2データベースを管理する方。

前提知識 【【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能】eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。

内容 1. はじめに
 2. アプリケーション・コンテナとアプリケーション
 3. CDB、アプリケーション・コンテナ およびPDBのセキュリティ
 4. 新しい方法を使用したPDBの作成
 5. PDBのリカバリとフラッシュバック
 6. CDBとPDBのパフォーマンス
 7. CDBおよびPDBでのアップグレードおよびその他の操作
 8. 権限およびユーザー・プロファイル
 9. 監査
 10. データ・リダクション
 11. データ暗号化
 12. 透過的機密データ保護
 13. データの可用性
 14. Oracle Data Pump, SQL*Loader および外部表
 15. インメモリリストア
 16. SQLチューニングの機能拡張
 17. リソース・マネージャおよび その他のパフォーマンスの拡張
 18. オンステートメント・リフレッシュ・マテリアライズド・ビューの使用
 19. 管理性の拡張
 20. 診断性の機能拡張
 21. Oracle Database Cloud Services
 22. SQLおよびSQLcl

備考 ・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
 ・本ページ右下※2をご参照ください。

※2

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材[eKit](PDF)を使用します。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE343 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理 New

平均21時間

Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cのコア機能の使用方法を学習します。

到達目標 Cloud Controlの管理と監視、ホストやグループ、システム、サービスの管理、ターゲットの監視、ジョブ・システムとEnterprise Managerレポート・ツールの使用、構成の表示と比較、コンプライアンスの管理などのタスクについて修得できる。

対象者 Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cを用いたシステムの統合管理に携わる方。

前提知識 「Oracle Database 12c 管理ネクスト・ステップ」コースを修了されているか、同等の知識があること。

内容

- はじめに
- Enterprise Managerのコア概念の確認
- Enterprise Manager Cloud Controlの管理および監視
- ターゲットの監視
- ホストの管理
- グループの管理
- システムおよびサービスの管理
- ジョブ・システムの管理
- インシデントの管理
- パッチ適用およびプロビジョニング
- 構成の管理
- コンプライアンスの管理
- Enterprise Managerレポートの作成および使用

備考

- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE019 Oracle

<eラーニング>
Oracleではじめる統計入門

平均7時間

Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。

到達目標

- Big Dataを取り巻く環境を説明できる。
- 基本的な統計手法について説明できる。
- Oracle Databaseにおけるデータ分析ができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。

前提知識 「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎 1」、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Big Dataを取り巻く環境
- 統計概要
- 平均
- 度数分布と標準偏差
- 散布図とバブル・チャート
- 時系列分析(傾向分析)
- 多次元分析
- Oracle Databaseで提供される分析関数

備考

- このコースのサービス有効期間は90日間です。
- このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE342 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】
Oracle Database 12c データ・マイニング手法 New

平均14時間

データ・マイニングの基本的な概念から、Oracle Advanced AnalyticsオプションのコンポーネントであるOracle Data Miningによる予測分析まで、Oracle Database 機能を活用したアナリティクスの実践方法を学習します。

到達目標 Oracle Data MiningのGUIツールであるOracle Data Miner 4.1を使用できるように、データのグラフィカルな調査、複数のデータ・マイニング・モデルの作成と評価、新しいデータへのOracle Data Miningモデルの適用およびOracle Data Miningの予測および洞察の企業全体へのデプロイを行うことができる。

対象者 Oracleデータベースを用いたデータ・マイニング作業について携わる方。

前提知識 「Oracleではじめる統計入門」eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。

内容

- はじめに
- 予測分析とデータ・マイニングの概念
- データ・マイニングのプロセス
- Oracle Data Miner 4.1の紹介
- 分類モデルの使用
- 回帰モデルの使用
- クラスタリング・モデルの使用
- マーケット・バスケット分析の実行
- 異常検出の使用
- 構造化データ及び非構造化データのマイニング
- 予測問合せの使用
- 予測モデルのデプロイ

備考

- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE029 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー :
ORACLE MASTER Bronze 12c Renewal
(受験チケット付)

平均7時間

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験(12c SQL、Bronze DBA 12c)の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット: Oracle認定資格オンライン試験用が1枚と受験チケット: Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者 Oracle Master Bronze 12c の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 1」及び「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了されているか、同等の知識があること。

内容

- ORACLE MASTER Bronze試験の受験準備
 - 12c SQL
 - SQLのSELECT文の使用によるデータの取得
 - データの制限とソート
 - 単一行関数の使用による出力のカスタマイズ
 - 変換関数と条件式の使用
 - グループ関数の使用による集計データのレポート
 - 結合の使用による複数の表のデータの出力
 - 副問合せの使用による問合せの解決
 - 集合演算子を使用
 - DML文の使用による表の管理
 - データ定義言語の概要
 - Bronze DBA 12c
 - Oracleデータベース管理の概要
 - Oracleデータベースのインストールおよびデータベースの作成
 - Oracle Enterprise Manager Database Express およびSQL管理ツールの使用
 - Enterprise Manager 管理者権限の付与
 - Oracle Network環境の構成
 - Oracleインスタンスの管理
 - データベース記憶域構造の管理
 - ユーザーおよびセキュリティの管理
 - スキーマ・オブジェクトの管理
 - データベースの監視およびアドバイザの使用
 - Oracleデータベース・ソフトウェアの管理

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE030 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー :
ORACLE MASTER Silver 12c Renewal
(受験チケット付)

平均7時間

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット: Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者 ORACLE MASTER Silver 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識 ORACLE MASTER Bronze 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

- インストール、アップグレード
 - Oracle Grid Infrastructure およびOracle データベースのインストールとデータベースの作成
 - Oracleデータベースのアップグレード
- Oracle Databaseの管理
 - インスタンスの管理、Oracleネットワーク環境の構成
 - ユーザー・セキュリティの管理、同時実行性の管理
 - データベース記憶域構造の管理
 - バックアップ・リカバリ、データ移動、リソース・マネージャ、Oracle Schedulerの使用
 - データベースのメンテナンス、パフォーマンスの管理

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

※2

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供いただきます。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE031 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Gold 12c (受験チケット付) **Renewal**

平均7時間

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、ORACLE MASTER資格の試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者 ORACLE MASTER Gold 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識 ORACLE MASTER Silver 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

1. バックアップとリカバリ
 - (1) Oracle データ保護ソリューション
 - (2) 基本的なバックアップとリカバリの実行
 - (3) リカバリ能力の構成
 - (4) RMAN リカバリ・カタログの使用
 - (5) バックアップ計画の実装・実行
 - (6) RMAN バックアップ・オプションの設定および非データベース・ファイルのバックアップの作成
 - (7) RMAN 暗号化バックアップの使用
 - (8) 障害の診断
 - (9) リストアおよびリカバリ操作の実行・RMAN を使用したファイルのリカバリ
 - (10) Oracle Secure Backup の使用
 - (11) フラッシュバック・テクノロジーの使用・フラッシュバック・データベースの使用
 - (12) データの転送
 - (13) データベースの複製
 - (14) RMAN の操作の監視と調整
2. プラガブル・データベースとコンテナ・データベースの管理
 - (1) マルチテナント・コンテナ・データベースとプラガブル・データベースのアーキテクチャと作成
 - (2) CDB と PDB の記憶域の管理・セキュリティの管理
 - (3) 可用性の管理
 - (4) パフォーマンスの管理
 - (5) データの移動、セキュリティ操作の実行、他の Oracle製品との統合

備考 ・このコースのサービス有効期間は180日間です。
・本ページ右下※2をご参照ください。

DBE340 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Unlimited Product Learning Subscription

対象のOracleトレーニング・オンデマンドを、期間中自由に学習します。

到達目標 担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。

対象者 Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。

前提知識 特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。

内容

1. 任意のOracleトレーニング・オンデマンドコース
2. 各種の関連する技術についての動画

備考 ・提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。
http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=1034
・このコースのサービス有効期間は365日間です。
・本ページ右下※2をご参照ください。

※別途ご案内いたします。

※2

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- ・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- ・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名古屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立研修会お問い合わせ窓口 > <https://www.hitachi-ia.co.jp/inquiry/index.html>